



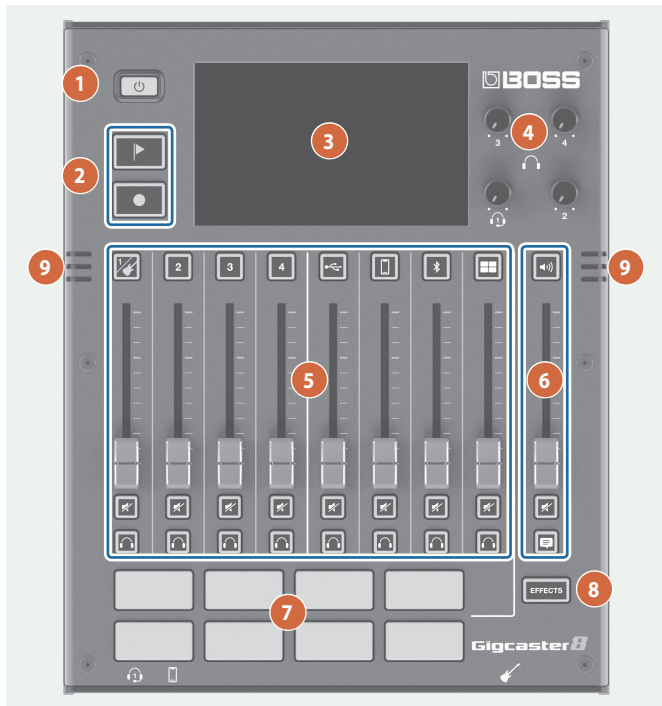
目次

準備する	3
トップ・パネル.....	3
フロント・パネル／リア・パネル.....	4
microSD カードをセットする.....	5
電源を入れる／切る.....	5
日付と時刻を設定する.....	5
画面（タッチ・パネル）の操作.....	6
チャンネル設定	8
チャンネル 1 ～ 4.....	8
INPUT.....	8
EQ.....	8
EFFECTS.....	9
GENERAL.....	9
USB チャンネル.....	10
INPUT.....	10
EQ.....	10
EFFECTS.....	10
GENERAL.....	11
MOBILE チャンネル.....	12
INPUT.....	12
EQ.....	13
EFFECTS.....	13
GENERAL.....	13
BLUETOOTH® チャンネル.....	14
INPUT.....	14
EQ.....	15
EFFECTS.....	15
GENERAL.....	15
SOUND PAD チャンネル.....	16
EFFECTS.....	16
GENERAL.....	16
エフェクトのエディット.....	17
エフェクトの接続順を変更する.....	17
エフェクト・パッチを保存する（パッチ・ライト）.....	18
パッチ・ライトの機能一覧.....	18
チューナーを使う.....	19
サウンド・パッドを使う	20
音声を再生する.....	20
サウンド・パッドの設定をエディットする.....	20
エフェクト・パッドを使う	22
エフェクト設定を選ぶ.....	22
エフェクト・パッドの設定をエディットする.....	22
フットスイッチ／エクスプレッション・ペダルを使う	24
フット・コントローラーを指定する.....	25
フットスイッチ／エクスプレッション・ペダルの設定.....	25
パッド・リンクの設定.....	26
GA-FC の設定.....	27

録音の操作	28
microSD カードをフォーマットする.....	28
録音方法を選ぶ.....	28
録音する.....	29
録音した音を再生する.....	29
録音データを削除する.....	30
録音データのバックアップをする.....	30
出力の設定	31
MAIN OUT.....	31
USB.....	32
USB MAIN.....	32
USB MONITOR.....	32
USB AUX IN.....	33
トークバックの設定（TALKBACK）.....	33
EFFECTS.....	34
GENERAL.....	34
MENU 画面の操作	35
CHANNEL / OUTPUT / PAD / FOOT SW.....	35
SETUP.....	35
GCS-8 のデータをバックアップする.....	36
工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）.....	37
エラー・メッセージ一覧	38
主な仕様	39

準備する

トップ・パネル



1

【】 ボタン

電源をオン／オフします。

ボタンを長押しすると、電源がオフになります。

2

【】 (マーク) ボタン

録音中にこのボタンを押すと、押した位置にマークを付けます。

パソコンでの編集時に、目印としてマークを利用できます。

※ マーク機能は、マルチトラックで録音する場合に有効です。通常の録音 (2 ミックス) で、マークを付けることはできません。

→ 「録音の操作」 (P.28)

【】 ボタン

録音開始／一時停止を切り替えます。

※ 録音したデータは、microSD カードに保存されます。

3

ディスプレイ (タッチ・パネル)

画面にタッチして各種設定をします。操作に応じていろいろな情報が表示されます。

4

[1] ~ [4] (ヘッドホン 1 ~ 4) つまみ

ヘッドホン 1 ~ 4 の音量を調節します。

5 CHANNEL

【】 ~ 【】 (チャンネル・エディット) ボタン

オン (点灯) にすると、選んだチャンネルの設定画面に切り替わります。

チャンネル・フェーダー

各入力チャンネルの音量を調節します。

【】 (ミュート) ボタン

各入力チャンネルのミュートをオン (点灯) / オフ (消灯) します。

【】 (モニター) ボタン

オン (点灯) にしたチャンネルの音は、ヘッドホン端子に出力されます。ヘッドホンで音を聴くことができます。

6 OUTPUT

【】 (OUTPUT) エディット・ボタン

オン (点灯) にすると、出力 (MAIN OUT やヘッドホンなど) の設定画面に切り替わります。

OUTPUT フェーダー

出力 (MAIN OUT や USB MAIN 出力) の音量を調節します。

【】 (ミュート) ボタン

出力 (MAIN OUT や USB MAIN 出力) のミュートをオン (点灯) / オフ (消灯) します。

【】 (トークバック) ボタン

オン (点灯) にすると、内蔵マイクやヘッドセットのマイクから入力した音声ヘッドホン端子だけに出力されます (トークバック)。連絡用の回線として使うことができます。

7

パッド 1 ~ 8

[EFFECTS] ボタンのオン／オフによって、サウンド・パッド / エフェクト・パッドの機能に切り替わります。

[EFFECTS] ボタン	機能
オフ (消灯)	サウンド・パッド 各パッドに割り当てられている音声を再生します。
オン (点灯)	エフェクト・パッド 各パッドに割り当てられているエフェクトの設定が使えます。

8

[EFFECTS] ボタン

オン (点灯) にすると、パッド 1 ~ 8 がエフェクト・パッドの機能になります。

9

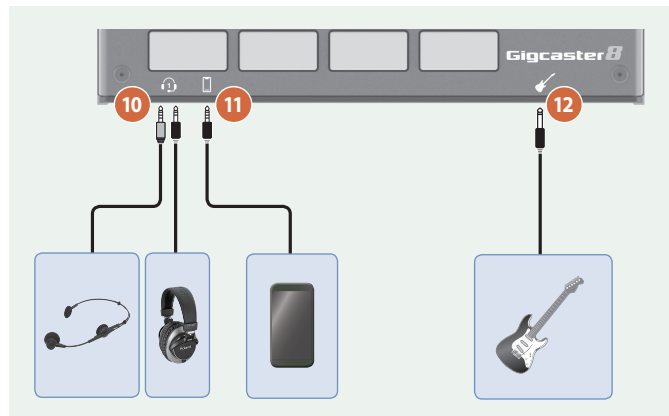
内蔵マイク

アコースティック楽器の音を録音するときや、トークバックのときに使います。

フロント・パネル／リア・パネル

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

フロント・パネル



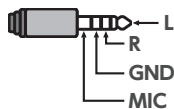
10 (ヘッドホン 1) 端子

ヘッドセットやヘッドホンを接続します。ヘッドホン 1 端子のみ、ヘッドセット対応です。

注意

ヘッドセットは、CTIA 対応の 3.5mm ミニ・プラグ (4 極) のものをお使いください。

※ ミニ・プラグ (4 極) のピン配置



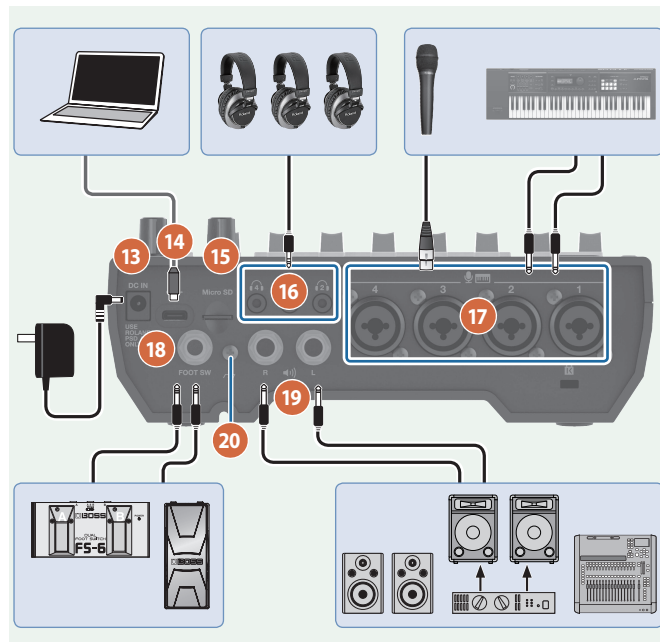
11 (モバイル) 端子

スマートフォンなどのモバイル機器を接続して、音声を入力します。

12 (ギター) 端子

ギターを接続します。
ギターの音声は、チャンネル 1 に入力されます。

リア・パネル



13 DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のように底面の溝を使って固定してください。

※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。



14 (USB) 端子

パソコンなどを接続して USB オーディオ・インターフェースとして使用したり、録音データや機器設定のバックアップ (P.30、P.36) をしたりします。

➔ USB の出力設定については P.32 を、USB オーディオの設定については P.35 をご覧ください。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。

メモ

USB 端子で電源を受けることができます。
給電時には、市販の USB AC アダプター (5V 〓 / 3A 以上) が 必要です。

15 Micro SD カード・スロット

microSD カードを差し込みます。

16

ヘッドホン 2 ～ 4 端子

ヘッドホンを接続します。

17

マイク (チャンネル) 1 ～ 4 端子

音声を入力します。マイクやキーボード、オーディオ機器を接続します。

※ **ファンタム電源について**

チャンネル 1 ～ 4 端子 (XLR) からは、ファンタム電源 (+48V) を供給することができます。ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、ファンタム電源をオンにしてください。チャンネル 1 ～ 4 の設定画面で、+48V を「ON」にします。

※ **マイク 1 ～ 4 端子 (XLR / TRS) のピン配置**

18

FOOT SW 端子

別売のフットスイッチ (FS-5U / FS-6 / FS-7) やエクスプレッション・ペダル (FV-500H / FV-500L / EV-30 / Roland EV-5)、またはフット・コントローラー (GA-FC) を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

※ エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

19

アンプ (MAIN OUT) L、R 端子

アンプやモニター・スピーカー、ミキサーに接続します。

20

接地端子

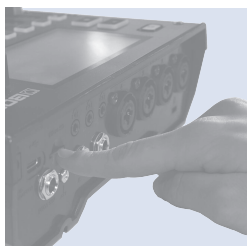
外部アースまたは大地に接地します。
必要に応じて接続してください。

microSD カードをセットする

1. microSD カードを、Micro SD カード・スロットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

注意

microSD カードは挿入方向や裏表に注意して確実に奥まで差し込んでください。また、無理に差し込まないでください。



microSD カードを抜く

2. microSD カードを押し込みます。
3. microSD カードをつまんで、手前に引っ張ります。

電源を入れる／切る

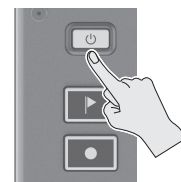
電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。
音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. 本機の [ON] ボタンを押します。

電源がオンになり、ディスプレイにホーム画面が表示されます。

2. 接続した機器 → アンプの順で、電源を入れます。



電源を切る

1. アンプ → 接続した機器の順で、電源を切ります。

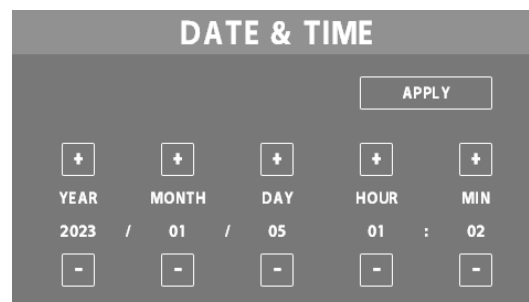
2. 本機の [ON] ボタンを長押し (2 秒) します。

確認のメッセージが表示されます。

3. <YES> にタッチします。

日付と時刻を設定する

ご購入後に初めて電源を入れたときは、ディスプレイに日付と時刻の設定画面が表示されます。



1. YEAR / MONTH / DAY の <-> <+> にタッチして、日付を設定します。

2. HOUR / MIN の <-> <+> にタッチして、時刻を設定します。

3. 設定が終わったら、<APPLY> にタッチします。

設定した日付と時刻が反映され、ホーム画面が表示されます。

メモ

日付と時刻は、メニュー画面から <SETUP> → <GENERAL> → 「DATE & TIME」を選んで設定直すことができます。

画面（タッチ・パネル）の操作

ホーム画面

起動後に表示される画面を「ホーム画面」と呼びます。ホーム画面では、入出力レベルや録音の状態を確認することができます。また、画面に表示されるボタンにタッチして、入出力チャンネルや各機能の設定画面に切り替えることができます。

日付／時刻表示
タッチすると、日付／時刻の設定画面に移動することができます。

録音表示
録音中に、録音経過時間を表示します。

SD CARD ボタン
SD CARD 画面を表示します。録音したデータの再生やパソコンへのバックアップをします。

TUNER ボタン
TUNER 画面を表示します。楽器のチューニングをすることができます。

MENU ボタン
MENU 画面を表示します。

レベル・メーター
各チャンネルのレベルを表示します。入力ゲイン／EQ／エフェクトを通したミックス前のレベルです。
OUTPUT のレベル・メーターは、ミックス後の出力レベルを表示します。

ファンタム電源：オン
ファンタム電源がオンになっているチャンネルに「●」が表示されます。

各チャンネルに設定された入力ソースに合わせて、表示が切り替わります。

- 各チャンネルと OUTPUT のアイコンにタッチするとウィンドウが開き、エフェクト・パッチを切り替えたりエディット画面を表示させたりすることができます。

■ チャンネル 1 ～ 4

エフェクト・パッチを切り替えます。

エフェクト・パッチのエディット画面に移動します。

■ USB ～ SOUND PAD チャンネル、OUTPUT

エフェクト・エディット画面に移動します。

- 左または右にスワイプすると、[EFFECTS] ボタン消灯時はサウンド・パッド、点灯時はエフェクト・パッドが表示されます。

左または右にスワイプ

消灯
EFFECTS

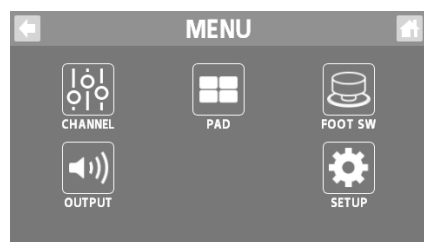
点灯
EFFECTS

タッチすると、各パッドの設定画面に移動します。

バンクを切り替えます。

MENU 画面

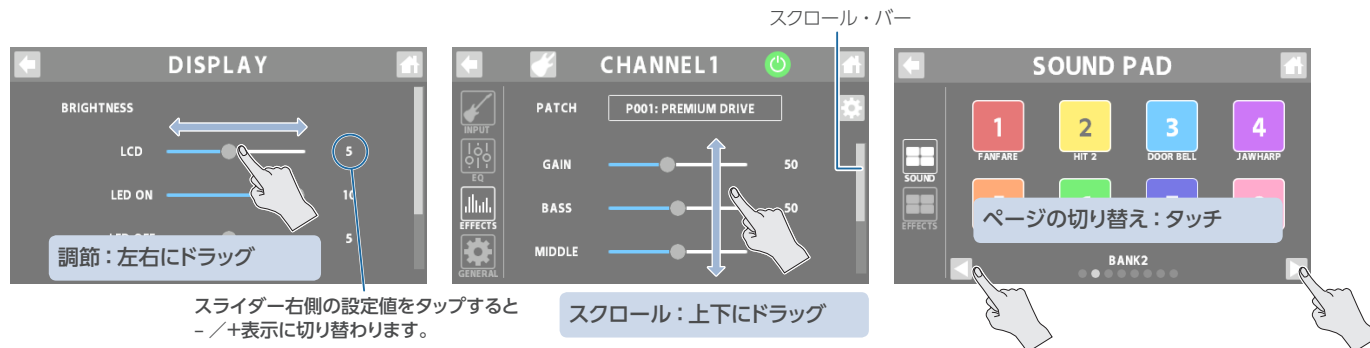
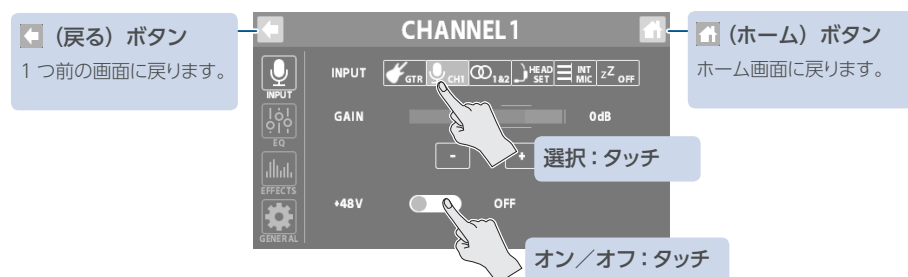
MENU 画面では、いろいろな設定が「メニュー」として表示されます。目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目にタッチして画面を切り替えます。



メニュー	説明
CHANNEL	各入力チャンネルの設定をします。
OUTPUT	MAIN OUT 端子やヘッドホン端子からの出力音の調整など、出力に関する設定をします。
PAD	サウンド・パッド、エフェクト・パッドの設定をします。

メニュー	説明
FOOT SW	FOOT SW 端子に接続したフットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルの機能を設定します。
SETUP	GCS-8 のシステム全体に関する設定をします。

各画面での主な操作

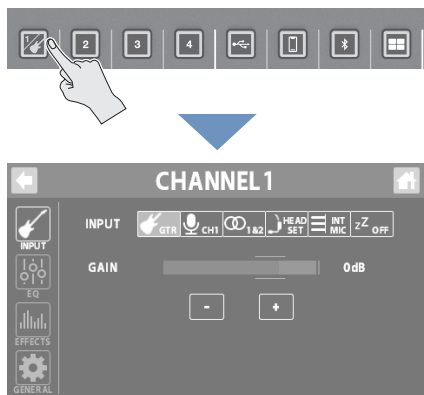


チャンネル設定

チャンネル 1 ～ 4

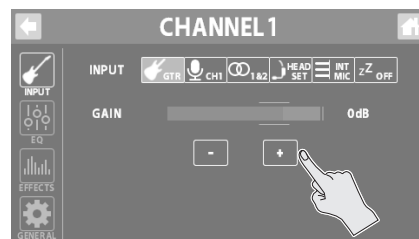
1. トップ・パネルの [1] ～ [4] ボタンを押します。

ボタンを押したチャンネルの設定画面が表示されます。



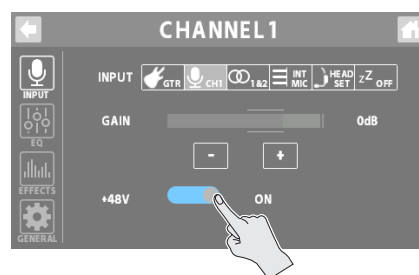
入力ゲインの設定

3. GAIN で、入力ゲインを調節します。



ファンタム電源のオン／オフ

4. ファンタム電源の必要なコンデンサー・マイクを使うときは、+48V を「ON」にします。

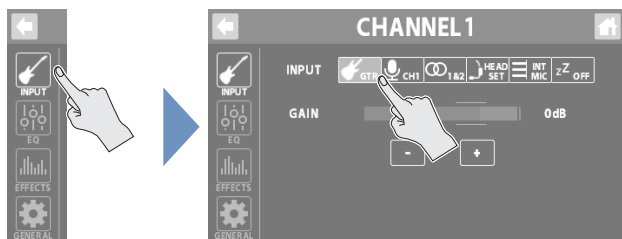


INPUT

入力ソースの選択

1. < INPUT > にタッチします。

2. INPUT の < GTR > ～ < OFF > にタッチして、入力ソースを選びます。

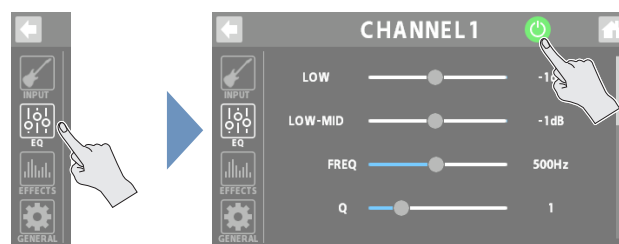


入力ソース	説明
GTR	ギター端子に接続したギター ※ チャンネル 1 のみ
CH1 ～ CH4	チャンネル 1 ～ 4 端子に接続したマイクやキーボード、オーディオ機器
1&2、 3&4	チャンネル 1 と 2、チャンネル 3 と 4 をステレオ・リンクで使うときに選びます。 ステレオ・リンクをオンにすると、2 つのチャンネルをまとめて同じ設定にします。 ※ ステレオ・リンクをオンにした場合、一方のチャンネルは自動的にオフになります。
INT MIC	内蔵マイク ヘッドセットのマイク
HEAD SET	※ 「INT MIC」「HEADSET」は、どちらか一方を、1 つのチャンネルだけに設定することができます。
Z Z OFF	オフ（使わない）

EQ

1. < EQ > にタッチします。

2. EQ ボタンを「ON」（緑点灯）にします。

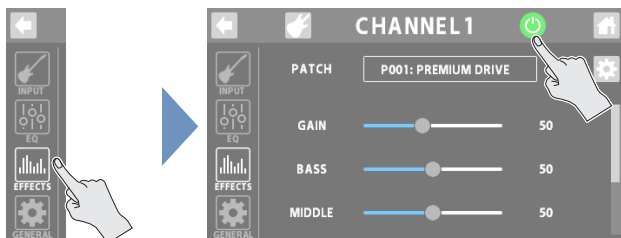


3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

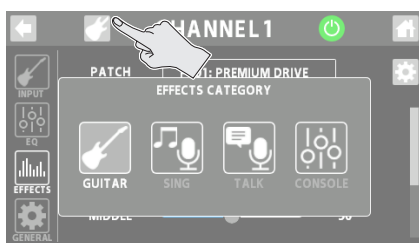
EFFECTS

1. < EFFECTS >にタッチします。
2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯) します。



カテゴリーの選択

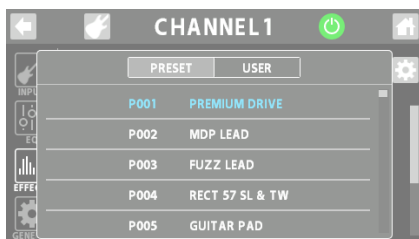
3. EFFECTS CATEGORY ボタンにタッチしてから、エフェクトのカテゴリーを選びます。



カテゴリー	説明
GUITAR	ギター用のエフェクト・パッチが選べます。 ※ チャンネル 1 のみ
SING	ボーカル用のエフェクト・パッチが選べます。 ※ チャンネル 1、2 のみ
TALK	会話用のエフェクト・パッチが選べます。
CONSOLE	チャンネル 1 ~ 4 に共通のエフェクトです。パラメーターはチャンネルごとに設定できます。 ※ エディットした設定は、そのまま保存されます。

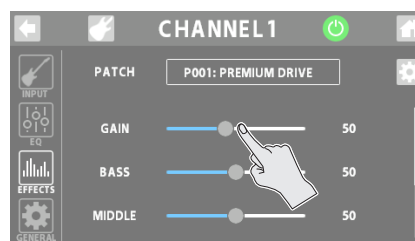
エフェクト・パッチの選択

4. PATCH で、使用するエフェクト・パッチを選びます。



パッチ	説明
PRESET	上書き保存はできません。 ただし、プリセット・パッチをエディットし、ユーザー・パッチとして保存することはできます。
USER	上書き保存ができます。

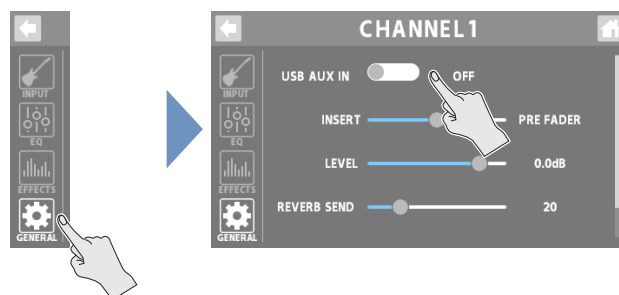
5. エフェクトのパラメーターを調節します。



※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



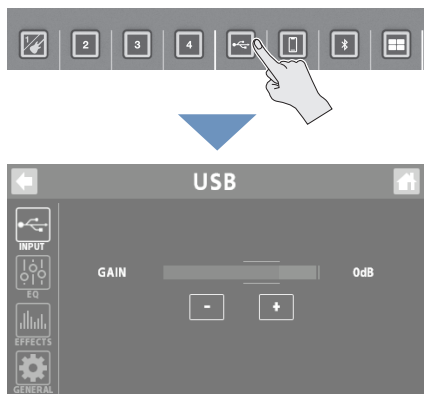
パラメーター	説明
USB AUX IN	各チャンネルの補助入力 (AUX IN) として、USB オーディオ信号を入力する (ON) かしない (OFF) かを設定します。
INSERT	USB オーディオ信号を入力する位置を設定します。
LEVEL	USB オーディオ信号の入力レベルを設定します。
REVERB SEND	各チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。
DYNAMICS REMAIN	注意 エフェクトのカテゴリーが「GUITAR」以外のときに有効な機能です。 「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にしたときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。 DYNAMICS REMAIN が有効な場合 EFFECTS ボタンが OFF のときは「青点灯」になります。

USB チャンネル

（USB）端子に接続した機器（パソコンなど）からの USB オーディオ信号を扱うチャンネルです。

※ AUDIO MODE (P.35) がマルチトラック（MTK-RECORD、MTK-STREAM）の状態を使うときは、パソコンの USB オーディオの設定で「CH USB」を選んでください。

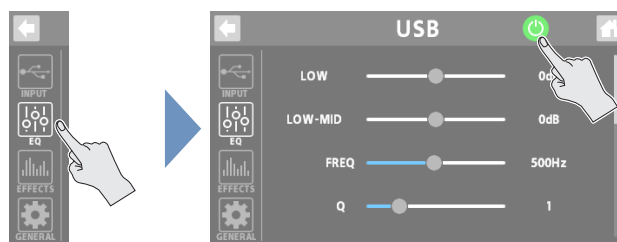
1. トップ・パネルの [] ボタンを押します。



EQ

1. <EQ>にタッチします。

2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



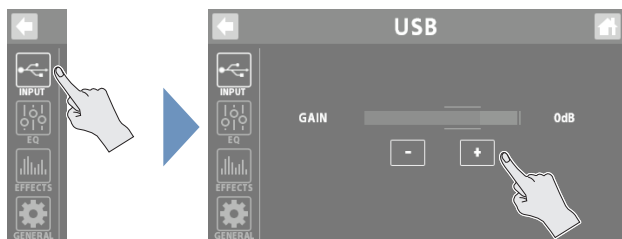
3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

INPUT

1. <INPUT>にタッチします。

2. GAIN で、入力ゲインを調節します。



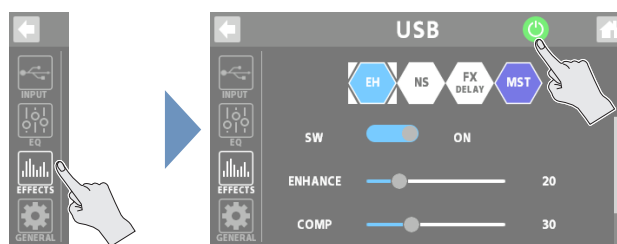
EFFECTS

USB チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. <EFFECTS>にタッチします。

エフェクトのエディット画面が表示されます。

2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯) します。



3. パラメーターを設定します。

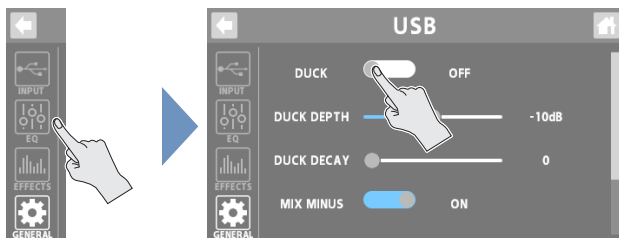
- エディット操作については、「エフェクトのエディット」(P.17) をご覧ください。
- パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

メモ

エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



ダッキング (DUCK)

演奏や会話の音声（チャンネル 1 ～ 4）が鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能です。

ナレーターの話やチャットの間、音楽（BGM）の音量を自動的に下げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン／オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

ハウリングの抑制 (MIX MINUS)

USB チャンネル自身の音声を差し引いたミックス音を、パソコンに戻す機能です。

パソコンで WEB 会話などをするときに、ハウリングを抑えることができます。

- ※ MIX MINUS 機能は、AUDIO MODE (P.35) がマルチトラック (MTK-RECORD、MTK-STREAM) の場合に有効です。
また、USB MONITOR 出力 (P.32) としてパソコンに送られます。

パラメーター	説明
MIX MINUS	MIX MINUS の機能をオン／オフします。

その他

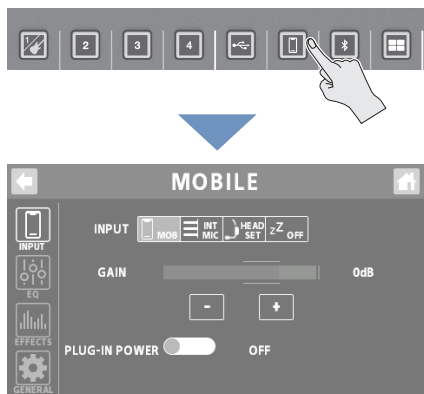
パラメーター	説明
REVERB SEND	USB チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。
DYNAMICS REMAIN	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にしたときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。 DYNAMICS REMAIN が有効な場合 EFFECTS ボタンが OFF のときは



MOBILE チャンネル

☎ (モバイル) 端子に接続した機器 (スマートフォンなど) からの音声信号を扱うチャンネルです。

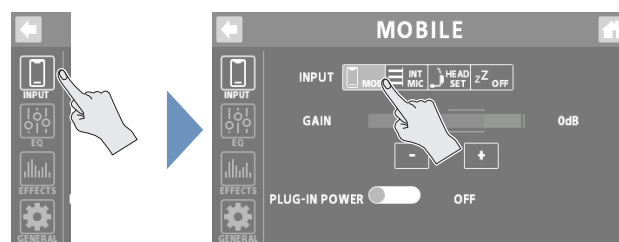
1. トップ・パネルの [☎] ボタンを押します。



INPUT

入力ソースの選択

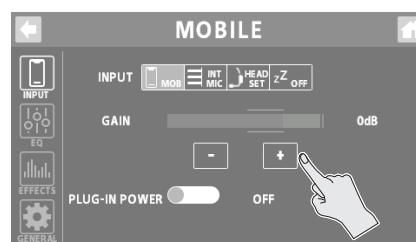
1. < INPUT > にタッチします。
2. INPUT の < MOB > ~ < OFF > にタッチして、入力ソースを選びます。



入力ソース	説明
☎ MOB	モバイル端子に接続したスマートフォン、またはプラグイン・マイク
≡ INT MIC	内蔵マイク ヘッドセットのマイク
🎧 HEAD SET	※ [INT MIC] [HEADSET] は、どちらか一方を、1 つのチャンネルだけに設定することができます。
⏏ Z Z OFF	オフ (使わない)

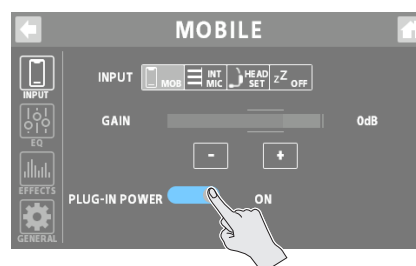
入力ゲインの設定

3. GAIN で、入力ゲインを調節します。



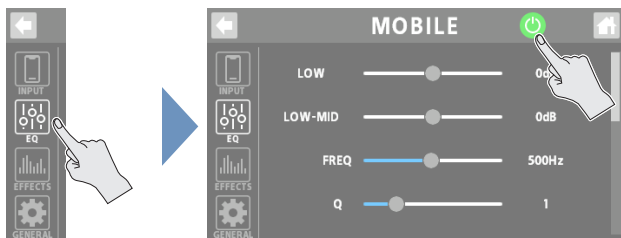
プラグイン・パワーのオン／オフ

4. プラグイン・マイクを使うときは、PLUG-IN POWER を「ON」にします。



EQ

1. < EQ >にタッチします。
2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



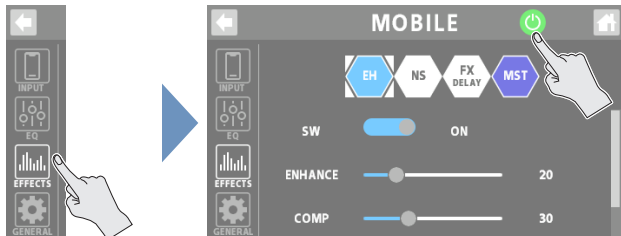
3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

EFFECTS

MOBILE チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS >にタッチします。
エフェクトのエディット画面が表示されます。
2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯) します。



3. パラメーターを設定します。

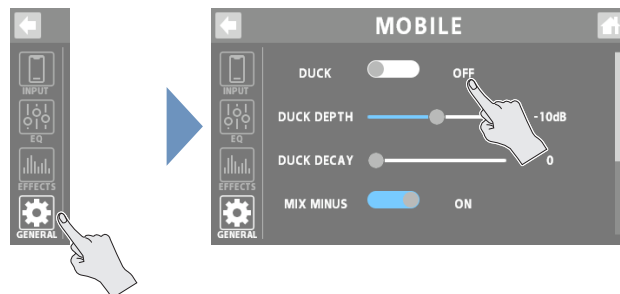
- エディット操作については、「エフェクトのエディット」(P.17) をご覧ください。
- パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

メモ

エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



ダッキング (DUCK)

演奏や会話の音声 (チャンネル 1 ~ 4) が鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能です。

ナレーターの話やチャットの間、音楽 (BGM) の音量を自動的に下げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がなかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

ハウリングの抑制 (MIX MINUS)

MOBILE チャンネル自身の音声を差し引いたミックス音を、モバイル端子に戻す機能です。

スマートフォンを有線接続して会話するときに、ハウリングを抑えることができます。

パラメーター	説明
MIX MINUS	MIX MINUS の機能をオン/オフします。

その他

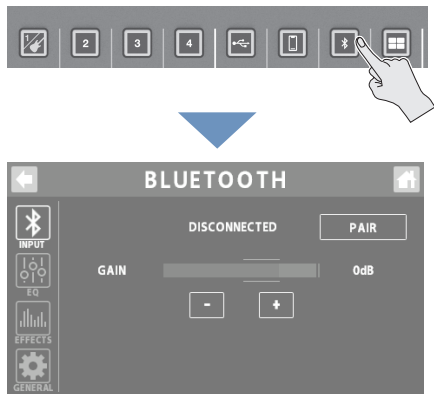
パラメーター	説明
TRRS RETURN	モバイル端子に接続した機器にミックス音を戻すときの音量を設定します。
REVERB SEND	MOBILE チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。
DYNAMIC REMAIN	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にしたときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。 DYNAMICS REMAIN が有効な場合 EFFECTS ボタンが OFF のときは「青点灯」になります。



BLUETOOTH® チャンネル

Bluetooth 接続したモバイル機器（スマートフォンなど）からのオーディオ信号を扱うチャンネルです。

1. トップ・パネルの [Bluetooth] ボタンを押します。



5. モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「GCS-8 Audio」をタップします。

接続中は、「CONNECTING」→「PAIRING」→「WAITING」と表示が変わり、接続が完了すると「接続した機器の名称」が表示されます。

ペアリングが成功すると、モバイル機器の「ペアリングされた機器」リストに「GCS-8 Audio」が追加されます。

一定時間ペアリングを実行しないと表示が「DISCONNECTED」に変わり、ペアリング待機状態が解除されます。

ペアリング済みモバイル機器の接続

1. <PAIR> にタッチします。
2. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。

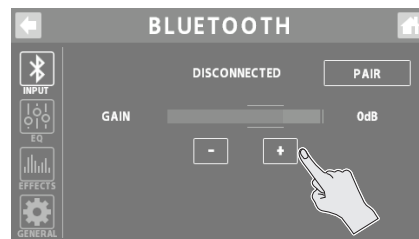


メモ

上記の操作で接続ができなかった場合は、モバイル機器の Bluetooth デバイス画面に表示されている「GCS-8 Audio」をタップしてください。

入力ゲインの設定

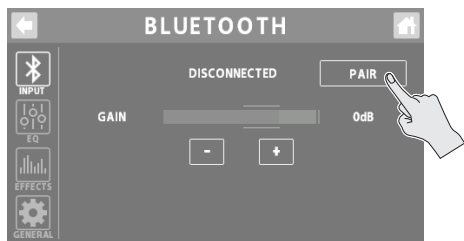
1. GAIN で、入力ゲインを調節します。



モバイル機器の登録（ペアリング）

操作説明は iPhone を使った場合の一例です。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

2. ペアリングしたいモバイル機器を、GCS-8 周辺に置きます。
3. <PAIR> にタッチします。

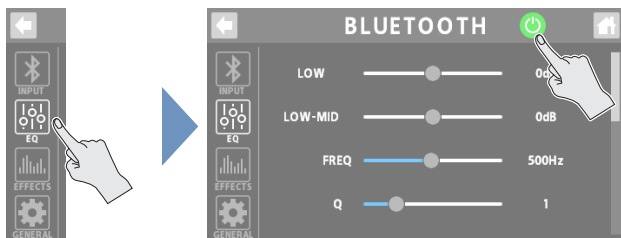


4. モバイル機器の Bluetooth 機能をオンにします。



EQ

1. < EQ >にタッチします。
2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。



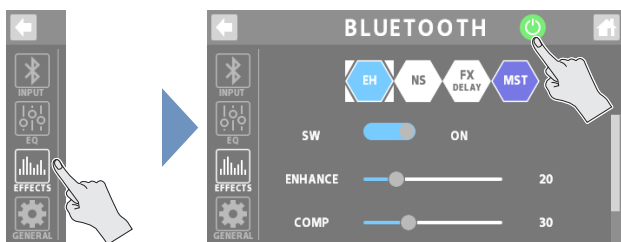
3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

EFFECTS

BLUETOOTH チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS >にタッチします。
エフェクトのエディット画面が表示されます。
2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯) します。



3. パラメーターを設定します。

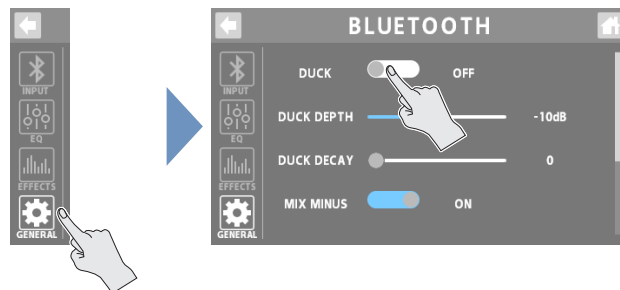
- エディット操作については、「エフェクトのエディット」(P.17) をご覧ください。
- パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

メモ

エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

1. < GENERAL >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



ダッキング (DUCK)

演奏や会話の音声(チャンネル 1 ~ 4) が鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能です。

ナレーターの話やチャットの間、音楽 (BGM) の音量を自動的に下げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

ハウリングの抑制 (MIX MINUS)

BLUETOOTH チャンネル自身の音声を差し引いたミックス音を、Bluetooth 機器に戻す機能です。

スマートフォンで会話などをすると、ハウリングを抑えることができます。

パラメーター	説明
MIX MINUS	MIX MINUS の機能をオン/オフします。

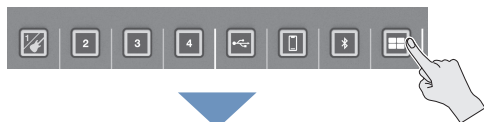
その他

パラメーター	説明
REVERB SEND	BLUETOOTH チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。
DYNAMICS REMAIN	「ON」にすると、EFFECTS ボタンを OFF にしたときでも、ENHANCE / COMP / NS は ON の状態が維持されます。 DYNAMICS REMAIN が有効な場合 EFFECTS ボタンが OFF のときは「青点灯」になります。
BLUETOOTH SW	Bluetooth 機能をオン/オフします。

SOUND PAD チャンネル

サウンド・パッドに割り当てた音声を扱うチャンネルです。

1. トップ・パネルの [] ボタンを押します。

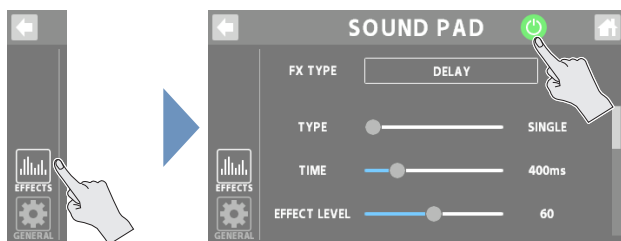


EFFECTS

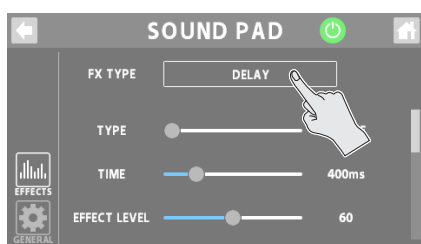
SOUND PAD チャンネル専用のエフェクトを使うことができます。

1. < EFFECTS > にタッチします。

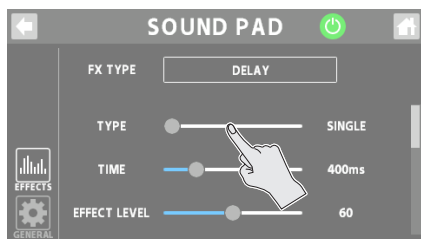
2. EFFECTS ボタンを「ON」(緑点灯) します。



3. FX TYPE で、使用するエフェクトを選びます。



4. エフェクトのパラメーターを調節します。



※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

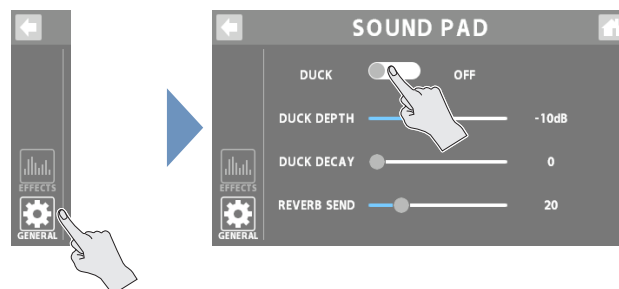
メモ

エディットした設定は、そのまま保存されます。

GENERAL

1. < GENERAL > にタッチします。

2. パラメーターを設定します。



ダッキング (DUCK)

演奏や会話の音声 (チャンネル 1 ~ 4) が鳴るときに、他の音を絞って演奏や会話の音声を目立たせる機能です。

ナレーターの話やチャットの間、音楽 (BGM) の音量を自動的に下げることができます。

パラメーター	説明
DUCK	ダッキングの機能をオン/オフします。
DUCK DEPTH	DUCK がかったときの減衰量を設定します。
DUCK DECAY	DUCK がかってから元の音量に戻るまでの長さを設定します。

その他

パラメーター	説明
REVERB SEND	SOUND PAD チャンネルからリバーブに送る信号のレベルを設定します。

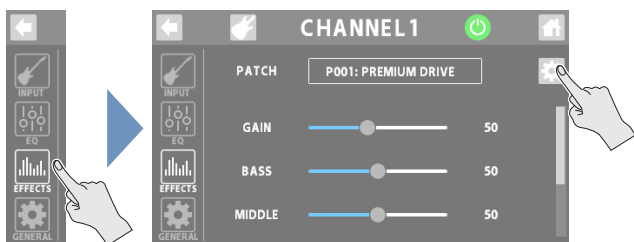
エフェクトのエディット

チャンネル 1 ～ 4 では「エフェクト・パッチ」、USB ～ SOUND PAD チャンネルでは各チャンネル専用のエフェクトをエディットすることができます。

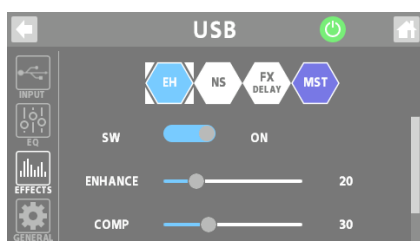
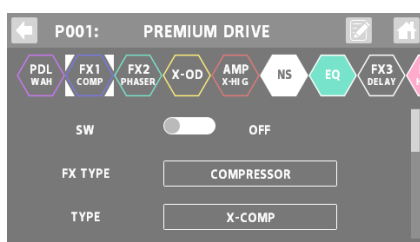
1. <EFFECTS>にタッチします。
2. (チャンネル 1 ～ 4 の場合) PATCH で、エディットしたいエフェクト・パッチを選びます。

※ エフェクトのカテゴリーが「CONSOLE」のときは、CONSOLE のエフェクトをエディットします。

3. <⚙>にタッチします。

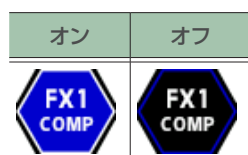


エフェクト・パッチのエディット画面、または EFFECT EDIT 画面が表示されます。



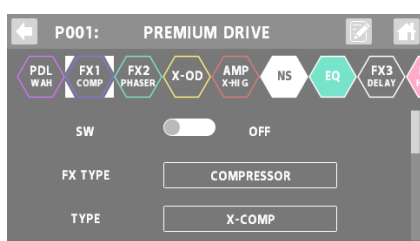
4. エディットしたいエフェクトのアイコンにタッチします。

アイコンにタッチするたびに、エフェクトのオン／オフが切り替わります。



※ SW で、ON / OFF を切り替えることもできます。

現在選ばれているエフェクトのパラメーターが表示されます。

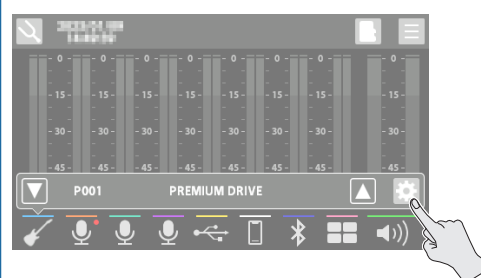


5. パラメーターの値を変更します。
6. エディットしたエフェクト・パッチの設定を保存するときは、パッチ・ライトの操作をします。

※ CONSOLE のエフェクトと USB ～ SOUND PAD チャンネルの専用エフェクトの場合、ライト操作は必要ありません。変更した設定がそのまま保存されます。

ホーム画面で、チャンネル 1 ～ BLUETOOTH チャンネルのアイコンにタッチするとウインドウが開きます。

<⚙>にタッチすると、エフェクトのエディット画面を表示させることができます。

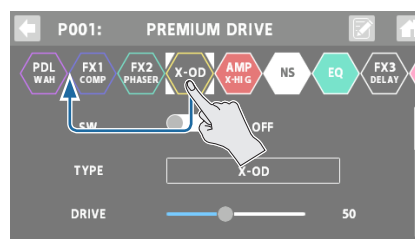


エフェクトの接続順を変更する

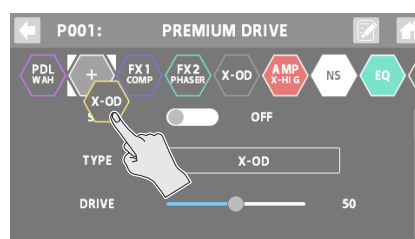
エフェクトのカテゴリーが「GUITAR」のエフェクト・パッチをエディットする場合は、エフェクトの接続順を変更することができます。

1. 順番を変えたいエフェクトのアイコンにタッチして、好みの場所にドラッグします。

例：X-OD を、PDL と FX1 の間に配置



2. 「+」のアイコンが表示されたら、ドラッグしたアイコンから指を離します。



X-OD が、PDL と FX1 の間に配置されました。

エフェクト・パッチを保存する（パッチ・ライト）

エディットしたエフェクト・パッチを、ユーザー・パッチとして保存します。

1. エフェクト・パッチのエディット画面で、**<☑>（ライト・ボタン）** にタッチします。

PATCH WRITE 画面が表示されます。



2. **<NAME>** にタッチして、パッチ・ネームを入力します。

- ・パッチ・ネームを変更しないときは、この手順は不要です。



3. パッチ・ネームが決まったら、**<ENTER>** にタッチします。

4. **TO** で、保存先のユーザー・パッチを選びます。

- ・現在選んでいるユーザー・パッチに上書き保存する場合は、この手順は不要です。

5. **<WRITE>** にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



※ 中止するときは、**<NO>** にタッチします。

6. **<YES>** にタッチします。

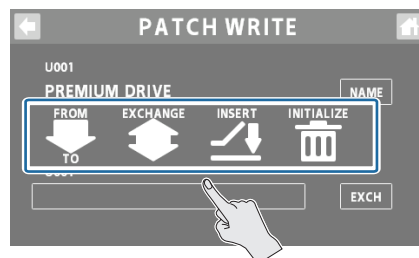
ユーザー・パッチが保存されます。

※ 「EXECUTING...」 と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

パッチ・ライトの機能一覧

PATCH WRITE 画面では、以下の機能を使うことができます。

画面にタッチして、機能を選んでください。



機能	説明
WRITE	ユーザー・パッチを保存します。
EXCHANGE	ユーザー・パッチ同士を入れ替えて、ユーザー・パッチの並びを変えることができます。 <EXCH> → <YES> にタッチして、入れ替えを実行します。
INSERT	指定したユーザー・パッチの位置に、ユーザー・パッチを挿入（インサート）します。 たとえば、U001 を U010 にインサートさせると、メモリー U010 以降は 1 つ番号が後ろにシフトします。（U010 は U011 になります）。 <INSERT> → <YES> にタッチして、インサートを実行します。
INITIALIZE	エフェクト・パッチの各エフェクトを、標準的なセッティングにすること（初期化）ができます。 最初からエフェクト・パッチを作りたいときに便利です。 <INIT> → <YES> にタッチして、初期化を実行します。

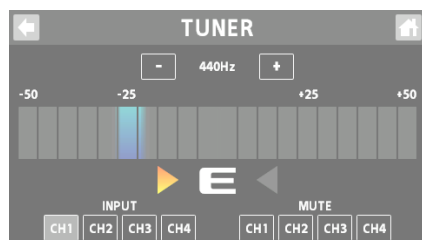
※ 「EXECUTING...」 と表示されている間は、絶対に電源を切らないでください。

チューナーを使う

GCS-8 に搭載されたチューナーを使ってギターチューニングをしたり、マイクの音声や楽器のピッチを確認したりすることができます。

1. ホーム画面で、 (TUNER ボタン) にタッチします。

TUNER 画面が表示されます。

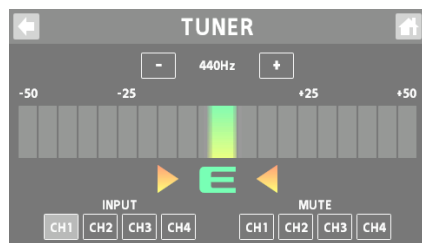


メーターの表示スタイルを切り替える

TUNER 画面で左または右にスワイプすると、メーターの表示スタイルを切り替えることができます。

セント表示

入力音が低いほど左が、高いほど右が点灯します。

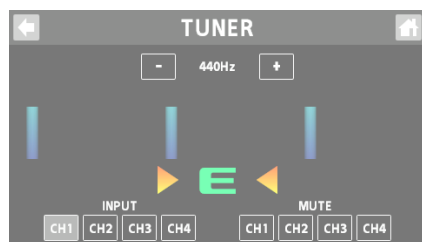


ストリーム表示

入力音のピッチのズレを、左右への光の流れ具合で表示します。

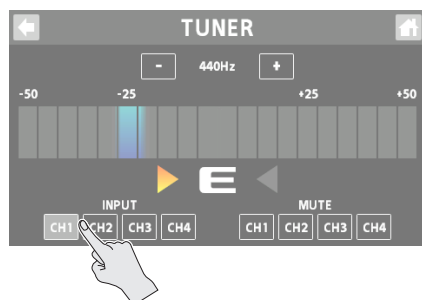
入力音が低いときは左に流れ、高いときは右に流れます。

ピッチのズレが小さくなるほど、光の流れる速さが遅くなり、ピッチが合うと光の流れが止まります。



2. INPUT の<CH1>～<CH4>にタッチして、チューニング対象のチャンネルを選びます。

複数のチャンネルを選ぶこともできます。



3. 楽器を単音で鳴らす、または音声を入力します。

鳴らした音に近い音名／弦番号が表示されます。正確なピッチとのズレが、メーターとチューニング・ガイドで表示されます。

 ピッチが高い

 ピッチが合っている

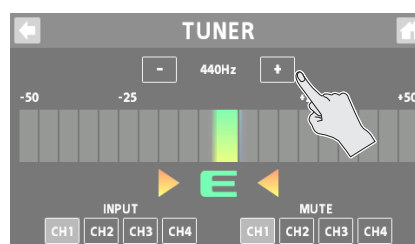
 ピッチが低いとき

4. 手順 3 を繰り返して、楽器または音声をチューニングします。

目的の音名／弦番号が表示され、チューニング・ガイドが両方点灯し、メーターのピッチが合うようにチューニングします。

基準ピッチの設定

1. <-><+>にタッチして、基準ピッチを設定します。



設定値

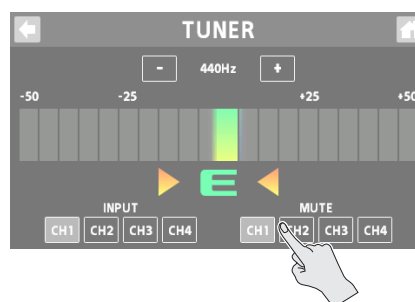
435 ～ 445Hz

ミュートの設定

チューナー使用時に、指定したチャンネルの出力をミュートすることができます。

1. MUTE の<CH1>～<CH4>にタッチして、出力をミュートするチャンネルを選びます。

複数のチャンネルを選ぶこともできます。



サウンド・パッドを使う

各パッドに割り当てられている音声を再生します。

BGM / ジングル / 効果音などを、最適なタイミングで鳴らすことができます。

- ・ サウンド・パッドには、64 個 (8 バンク× 8) の音声を割り当てることができます。
- ・ 起動時には、バンク 1 が選ばれます。

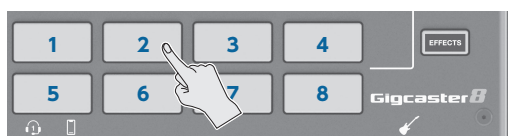
音声を再生する

1. [EFFECTS] ボタンを消灯させます。

サウンド・パッドとして使えるようになります。



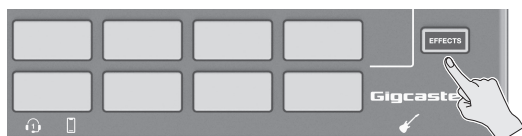
2. サウンド・パッド 1 ～ 8 を押して、音声を再生します。



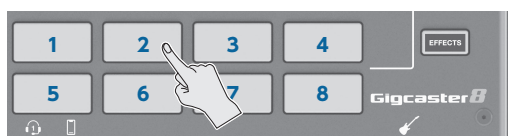
バンクの切り替え

3. [EFFECTS] ボタンを長押しします。

サウンド・パッド 1 ～ 8 が、バンク切り替えの機能に変わります。



4. サウンド・パッド 1 ～ 8 を押して、バンクを切り替えます。

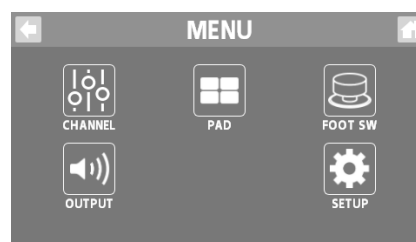


サウンド・パッドの設定をエディットする

64 (8 バンク× 8) のパッドの設定をエディットすることができます。

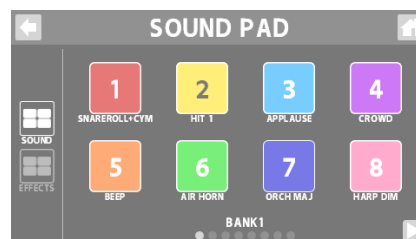
1. ホーム画面で、<≡> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



2. <PAD> → <SOUND> にタッチします。

SOUND PAD 画面が表示されます。



3. <◀><▶> にタッチして、バンクを選びます。

4. 設定をエディットしたいパッドにタッチします。



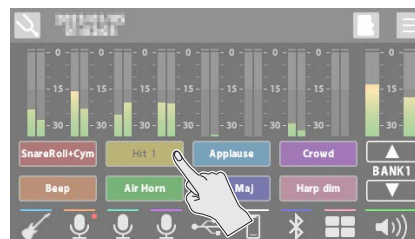
5. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

パラメーター	説明	
FILE	パッドに割り当てる音声 (WAV) ファイルを選びます。	
MODE	1SHOT	ワンショット再生 1 回再生して、停止します。
	LOOP	ループ再生 停止指示があるまで、連続再生します。
(TYPE)	MOMENT	パッドを押している間、音声を再生します。
	TOGGLE	パッドを押すたびに、再生／停止を繰り返します。
	PAUSE	パッドを押すたびに、再生／一時停止を繰り返します。 再生時は、前回停止した位置から再生がスタートします。 途中で停止させたいときは、パッドを長押しします。
	REPLAY	パッドを押すたびに、頭から再生がスタートします。 途中で停止させたいときは、パッドを長押しします。
	PLAY	パッドを押して再生をスタートさせ、再生中にパッドを押しても、最後まで再生して停止します。 途中で停止させたいときは、パッドを長押しします。
LEVEL	音声再生時の音量を設定します。	
EFFECT SEND	SOUND PAD チャンネルに設定されているエフェクトをかける (ON) かかけない (OFF) かを設定します。	
REVERSE	リバーブ再生にする (ON) か通常再生にする (OFF) かを設定します。	
SPEED	音声の再生速度を設定します。 オリジナルの速度に対する割合で設定します。	
PITCH	音声再生時のピッチを、半音単位で設定します。	
FINE	音声再生時のピッチを微調整します。	
FADE IN	フェード・インで再生スタートさせるときの、フェード・インの時間を設定します。 フェード・インを使わないときは、「OFF」にします。	
FADE OUT	フェード・アウトで停止させるときの、フェード・アウトの時間を設定します。 フェード・アウトを使わないときは、「OFF」にします。	
CUT IN	「ON」に設定したパッドの音声再生中の場合、他の音声 (サウンド・パッド、チャンネル 1 ～ 4、USB ～ BLUETOOTH チャンネル) はミュートされます。 ※ 「ON」に設定したパッドの音声には、エフェクトはかかりません。	
COLOR	パッドの点灯色を設定します。	
MIDI CC	パッドを押したときに送信される MIDI コントローラー・ナンバー (CC#) を設定します。 送信しないときは「OFF」にします。	

[EFFECTS] ボタンが消灯しているときにホーム画面で左または右にスワイプすると、サウンド・パッドが表示されます。

設定をエディットしたいパッドにタッチして、エディット画面を表示させることができます。



専用アプリを使って、サウンド・パッドに割り当てる WAV ファイルをインポートすることができます。

専用アプリの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

エフェクト・パッドを使う

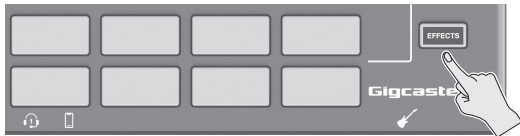
各パッドにエフェクトのオン/オフやいろいろな機能を割り当て、パッドの操作でコントロールすることができます。

- エフェクト・パッドには、64 個（8 バンク× 8）のエフェクト設定を割り当てることができます。
- 1 つのエフェクト設定に 4 つのグループ（A ～ D）があり、各グループに機能を割り当てて、同時にコントロールすることができます。
- 起動時には、バンク 1 が選ばれます。

エフェクト設定を選ぶ

1. [EFFECTS] ボタンを点灯させます。

エフェクト・パッドとして使えるようになります。



2. エフェクト・パッド 1 ～ 8 を押して、エフェクトをオンにします。



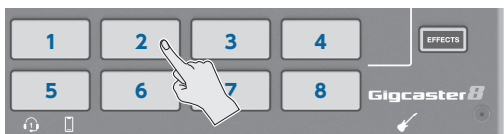
バンクの切り替え

3. [EFFECTS] ボタンを長押しします。

エフェクト・パッド 1 ～ 8 が、バンク切り替えの機能に変わります。



4. エフェクト・パッド 1 ～ 8 を押して、バンクを切り替えます。

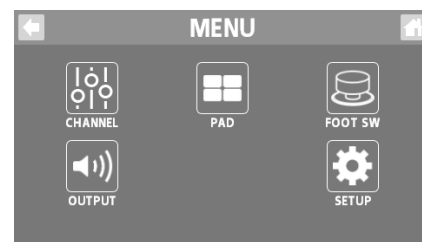


エフェクト・パッドの設定をエディットする

64（8 バンク× 8）のパッドの設定をエディットすることができます。

1. ホーム画面で、<≡>（MENU ボタン）にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



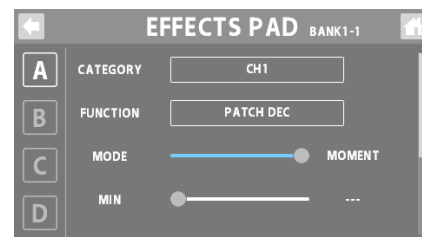
2. <PAD> → <EFFECTS> にタッチします。

EFFECTS PAD 画面が表示されます。

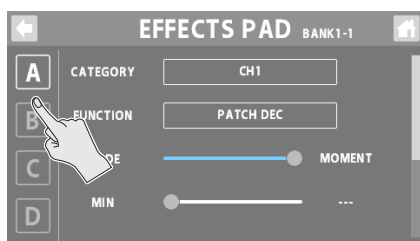


3. <◀><▶> にタッチして、バンクを選びます。

4. 設定をエディットしたいパッドにタッチします。



5. <A>～<D>にタッチして、グループを選びます。



6. パラメーターの設定値を変更します。

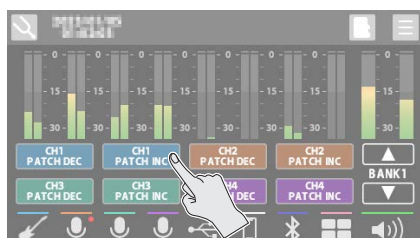
※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

パラメーター	説明	
CATEGORY	カテゴリーを選びます。 カテゴリーによって、選べる機能が変わります。	
FUNCTION	パッドに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。	
MODE	TOGGLE	パッドを押すたびに、MIN の値／MAX の値に切り替わります。 MAX の値のときに、パッドが点灯します。
	MOMENT	パッドを押している間、MAX の値になります。 MAX の値のときに、パッドが点灯します。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限値 (MIN) と上限値 (MAX) を設定します。	
MAX	※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。	
COLOR	パッドの点灯色を設定します。	

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

[EFFECTS] ボタンが点灯しているときにホーム画面で左または右にスワイプすると、エフェクト・パッドが表示されます。

設定をエディットしたいパッドにタッチして、エディット画面を表示させることができます。

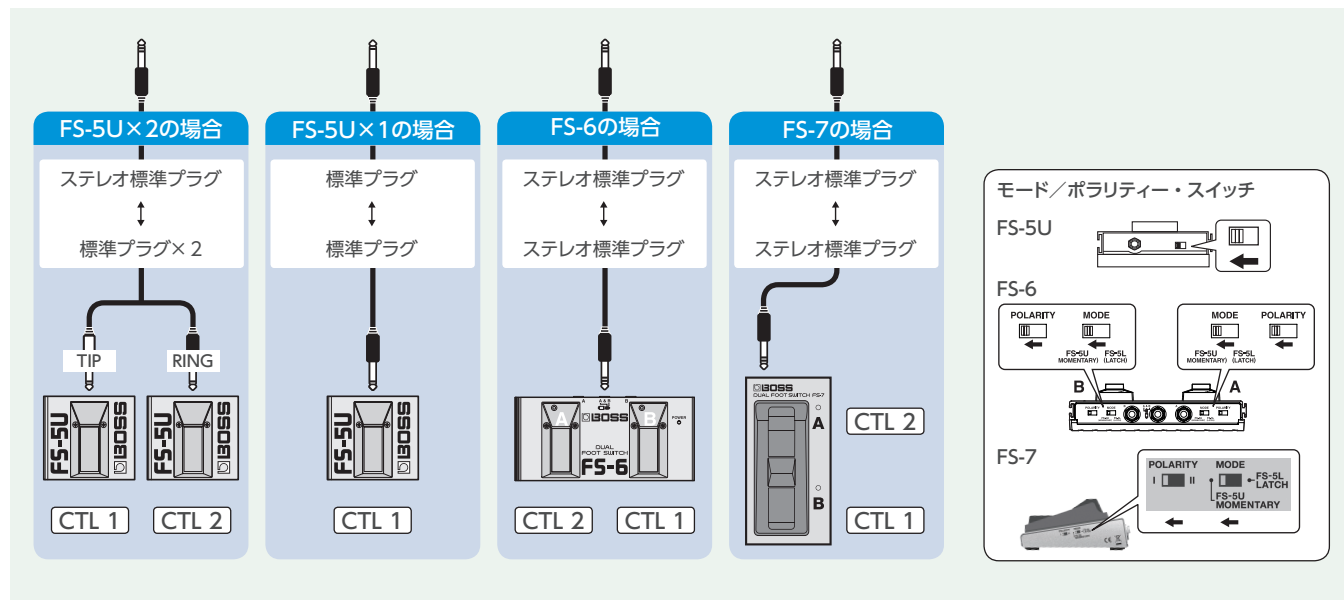


フットスイッチ／エクスプレッション・ペダルを使う

別売のフットスイッチ（FS-5U / FS-6 / FS-7）やエクスプレッション・ペダル（FV-500H / FV-500L / EV-30 / Roland EV-5）、フット・コントローラー（GA-FC）を接続して、さまざまな機能をコントロールすることができます。

フットスイッチの接続

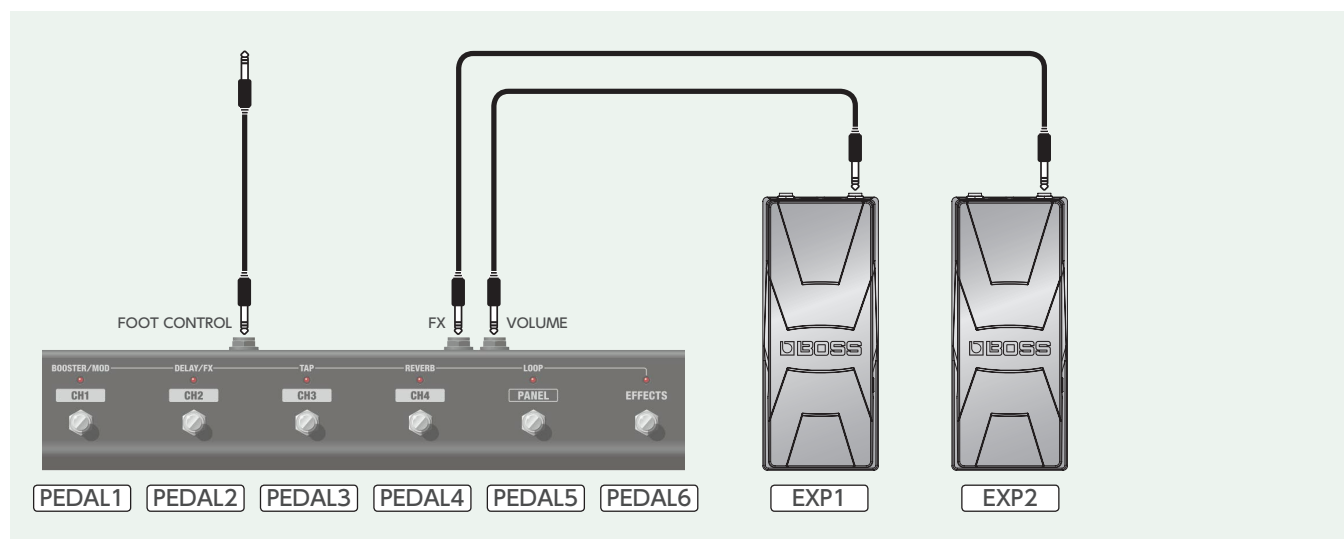
下図を参考にフットスイッチを接続し、モード／ポラリティー・スイッチを設定してください。



GA-FC の接続

GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダルにも、機能を割り当ててコントロールすることができます。

※ 必ずステレオ・ケーブルを使用して、FOOT SW 端子に接続してください。

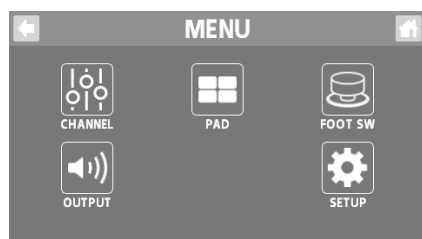


フット・コントローラーを指定する

FOOT SW 端子に接続したフット・コントローラー（フットスイッチ、エクスプレッション・ペダル、GA-FC）を指定します。

1. ホーム画面で、<≡> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



2. < FOOT SW > → < GENERAL > にタッチします。



3. FOOT SW で、フット・コントローラーを指定します。



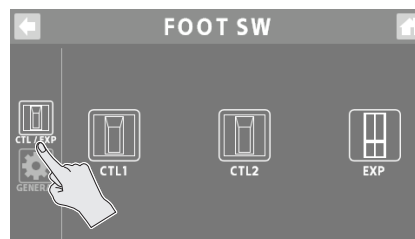
設定値	説明
CTL/EXP	フットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを接続したときに選びます。
GA-FC	GA-FC を接続したときに選びます。

フットスイッチ／エクスプレッション・ペダルの設定

フットスイッチ（CTL1、2）とエクスプレッション・ペダル（EXP）のそれぞれに 4 つのグループ（A～D）があり、各グループに機能を割り当てて、同時にコントロールすることができます。

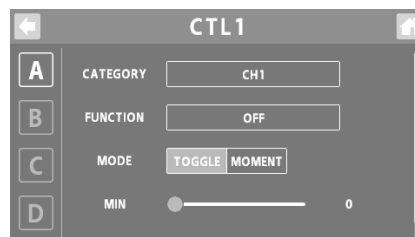
1. 「フット・コントローラーを指定する」の操作で、「CTL/EXP」を選びます。

2. < CTL/EXP > にタッチします。

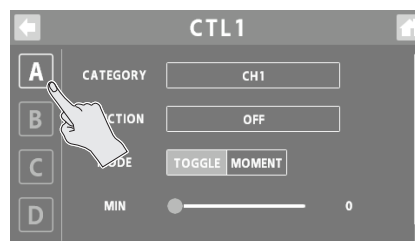


3. < CTL1 > ～ < EXP > にタッチして、機能を設定するフットスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを選びます。

設定画面が表示されます。



4. < A > ～ < D > にタッチして、グループを選びます。



5. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

CTL1、2

機能	説明
CATEGORY	カテゴリーを選びます。 カテゴリーによって、選べる機能が変わります。
FUNCTION	フットスイッチに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。
MODE	TOGGLE フットスイッチを押すたびに、MIN の値／MAX の値に切り替わります。
	MOMENT フットスイッチを押している間、MAX の値になります。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限值 (MIN) と上限値 (MAX) を設定します。
MAX	※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。

EXP

機能	説明
CATEGORY	カテゴリーを選びます。 カテゴリーによって、選べる機能が変わります。
FUNCTION	エクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限值 (MIN) と上限値 (MAX) を設定します。
MAX	ペダルを戻したときが MIN、ペダルを踏み込んだときが MAX になります。 ※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

パッド・リンクの設定

「パッド・リンク」を使うと、パッド 1 ～ 8 に割り当てた機能を、GA-FC の操作でコントロールすることができます。

サウンド・パッド／エフェクト・パッドのどちらもコントロールできます。

注意

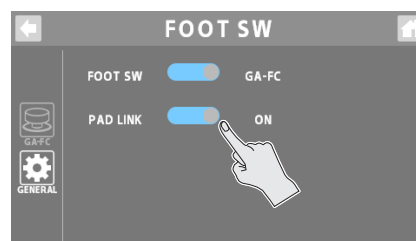
パッド・リンクを使う場合、GA-FC の各スイッチ (PEDAL1 ～ 6) に割り当てた機能の設定は無効になり、パッド 1 ～ 8 に割り当てた機能のみをコントロールします。

GA-FC に接続したエクスプレッション・ペダル (EXP1、2) に割り当てた機能は有効です。

1. 「フット・コントローラーを指定する」(P.25) の操作で、「GA-FC」を選びます。

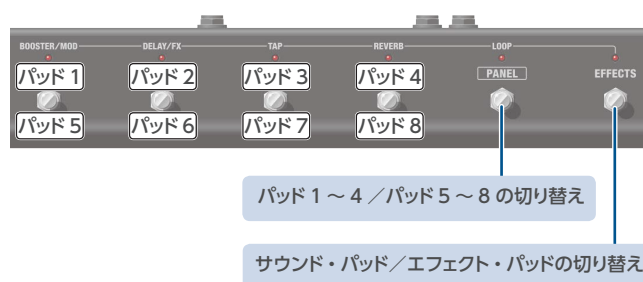
「PAD LINK」が表示されます。

2. PAD LINK で、ON / OFF を切り替えます。



設定値	説明
ON	GA-FC で、サウンド・パッドまたはエフェクト・パッド 1 ～ 8 に割り当てた機能をコントロールします。
OFF	GA-FC の各スイッチ／エクスプレッション・ペダルに割り当てた機能をコントロールします。

GA-FC とパッドの対応

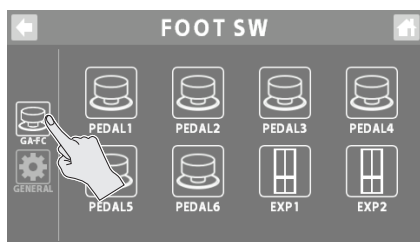


GA-FC の設定

スイッチ（PEDAL1 ～ 6）とエクスプレッション・ペダル（EXP1、2）のそれぞれに 4 つのグループ（A ～ D）があり、各グループに機能を割り当てて、同時にコントロールすることができます。

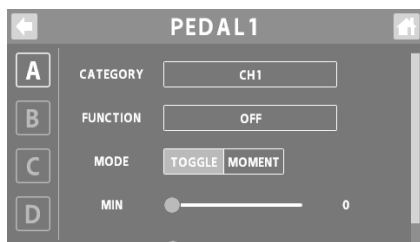
1. 「フット・コントローラーを指定する」（P.25）の操作で、「GA-FC」を選びます。

2. < GA-FC > にタッチします。

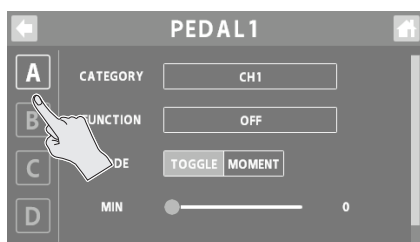


3. < PEDAL1 > ～ < EXP2 > にタッチして、機能を設定するスイッチまたはエクスプレッション・ペダルを選びます。

設定画面が表示されます。



4. < A > ～ < D > にタッチして、グループを選びます。



5. パラメーターの設定値を変更します。

※ 変更した設定が、そのまま保存されます。

PEDAL1 ～ 6

機能	説明
CATEGORY	カテゴリを選びます。 カテゴリによって、選べる機能が変わります。
FUNCTION	スイッチに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。
MODE	TOGGLE スイッチを押すたびに、MIN の値／MAX の値に切り替わります。
	MOMENT スイッチを押している間、MAX の値になります。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限值（MIN）と上限値（MAX）を設定します。
MAX	※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。

EXP1、2

機能	説明
CATEGORY	カテゴリを選びます。 カテゴリによって、選べる機能が変わります。
FUNCTION	エクスプレッション・ペダルに割り当てる機能を設定します。 使わないときは「OFF」にします。
MIN	パラメーターの可変範囲の下限值（MIN）と上限値（MAX）を設定します。
MAX	ペダルを戻したときが MIN、ペダルを踏み込んだときが MAX になります。 ※ 割り当てた機能によって、設定値が変わります。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』（Web）をご覧ください。

録音の操作

ギター演奏や会話を録音します。

注意

- 録音には、microSD カード（市販品）が必要です。
- microSD カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。
- 録音／再生中は、絶対に電源を切ったり、microSD カードを抜いたりしないでください。

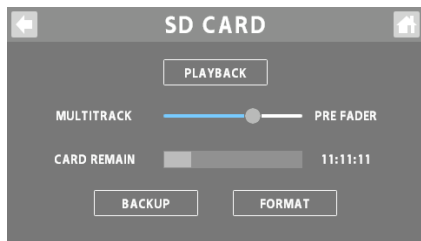
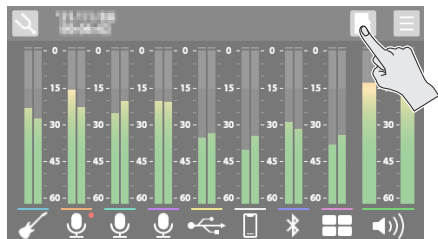
microSD カードをフォーマットする

GCS-8 で microSD カードを使用するときは、最初に microSD カードをフォーマットします。

※ フォーマットしていない microSD カードを挿入すると、「UNFORMATTED CARD」とメッセージが表示されます。画面に指示に従ってフォーマットしてください。

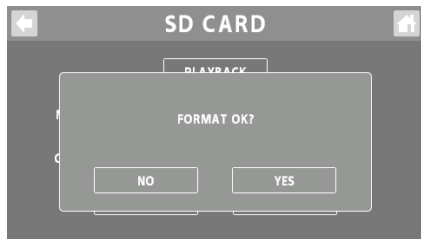
1. ホーム画面で、<SDカード・ボタン> にタッチします。

SD CARD 画面が表示されます。



2. <FORMAT> にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



※ 中止するときは、<NO> にタッチします。

3. <YES> にタッチします。

フォーマットが完了すると、「COMPLETED」と表示されます。

注意

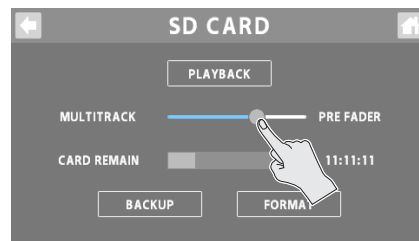
- フォーマットすると、microSD カード内のデータはすべて消えてしまいます。
- フォーマット中は、絶対に microSD カードを抜かないでください。

録音方法を選ぶ

録音には、<MAIN OUT> 端子から出力される音と同じ 2 ミックス（ステレオ）の録音と、2 ミックスする前の各チャンネルを録音（マルチトラック）する方法があります。

録音データの用途に合わせて、録音方法を選びます。

1. SD CARD 画面の MULTITRACK で、録音方法を選びます。



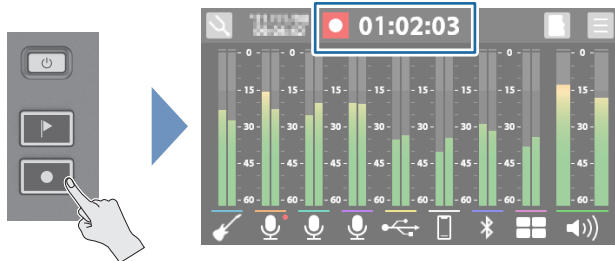
設定値	説明
OFF	2 ミックスの録音です。
DIRECT	マルチトラックの録音です。 入力ゲイン調整後の信号で、EQ やエフェクトのかからない音が録音されます。
PRE FADER	マルチトラックの録音です。 各チャンネル・フェーダーで調整される前の信号が録音されます。 録音したデータのミックス・バランスを DAW など調整する場合に使用します。
POST FADER	マルチトラックの録音です。 各チャンネル・フェーダーでミックス・バランスを調整された信号が録音されます。

録音する

1. [●] ボタンを押します。

ボタンが赤点灯して、録音が始まります。

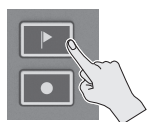
ホーム画面に、録音経過時間が表示されます。



- 録音中に [●] ボタンを押すと、録音が一時停止します。
- 一時停止状態から [●] ボタンを押すと、ボタンが赤点灯に変わって録音が再び始まります。

マークを付ける

録音中に [▶] ボタンを押すと、録音データに「マーク」を付けることができます。マークは DAW など録音データを編集するときに利用することができます。



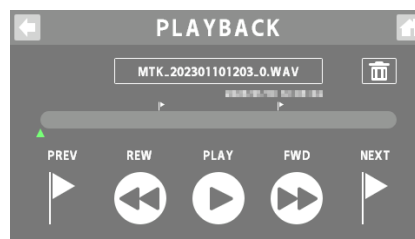
2. 録音を終了するときは、[●] ボタンを長押しします。

ボタンが薄い点灯に変わり、録音が終了します。

録音した音を再生する

1. SD CARD 画面で、< PLAYBACK > にタッチします。

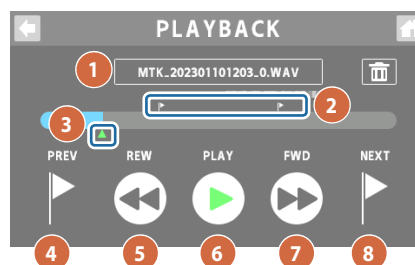
PLAYBACK 画面が表示されます。



2. < ▶ PLAY > にタッチします。

録音した音が再生されます。

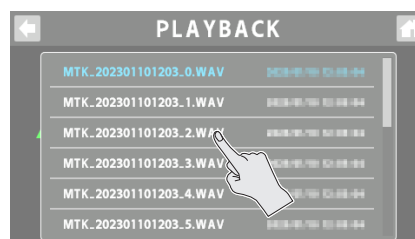
PLAYBACK 画面では、2 ミックス録音した音を確認することができます。



表示	説明
1 ファイル名	録音データ（オーディオ・ファイル） タッチすると、オーディオ・ファイルの一覧が表示されます。
2 マーク	マークを付けた位置を表示します。
3 再生位置	再生位置を示します。 ▲をドラッグして、再生位置を移動させることができます。
4 PREV	停止中にタッチすると、1 つ前のマークに戻ります。
5 REW	早戻し
6 PLAY	タッチするたびに、再生／停止が切り替わります。 再生中は緑点灯になります。
7 FWD	早送り
8 NEXT	再生／停止中にタッチすると、次のマークに進みます。

以前に録音した音を再生する場合

ファイル名にタッチ → 表示されたオーディオ・ファイルの一覧の中から、再生するオーディオ・ファイルにタッチします。



録音データを削除する

1. PLAYBACK 画面で、削除したいオーディオ・ファイルを選びます。

2. < 削除アイコン > にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

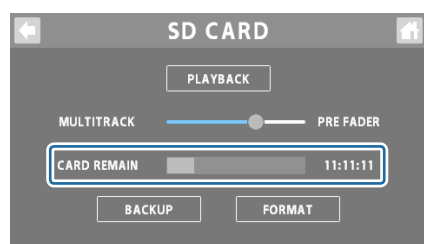


※ 中止するときは、< NO > にタッチします。

3. < YES > にタッチします。

削除が完了すると、「COMPLETED」と表示されます。

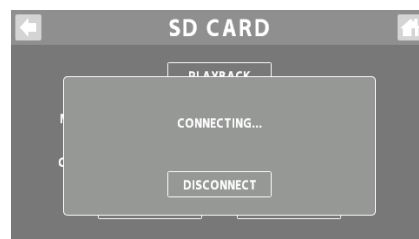
CARD REMAIN で、microSD カードの空き容量（録音可能な時間）を確認することができます。



録音データのバックアップをする

1. SD CARD 画面で、< BACKUP > にタッチします。

「CONNECTING...」と表示されます。



2. USB ケーブルで、GCS-8 の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続します。

パソコンとの間で接続が完了すると「CONNECTED」とメッセージが表示されます。

3. GCS-8_EXT ドライブを開きます。

Windows

PC 内の「GCS-8_EXT」を開きます。

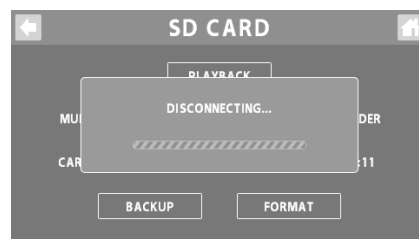
macOS

デスクトップの「GCS-8_EXT」アイコンを開きます。

4. バックアップしたいオーディオ・ファイル（.WAV）をパソコンにコピーします。

5. < DISCONNECT > にタッチして、GCS-8_EXT ドライブの取り出しをします。

「DISCONNECTING...」と表示されます。



※ パソコン側の操作で、GCS-8_EXT ドライブの取り出しをすることもできます。

Windows

画面右下の [] → [] アイコンから「GCS-8_EXT」をクリックします。

macOS

「GCS-8_EXT」アイコンをゴミ箱（「取り出し」アイコン）にドラッグします。

専用アプリを使って、オーディオ・ファイルのフォーマットを変換することができます。

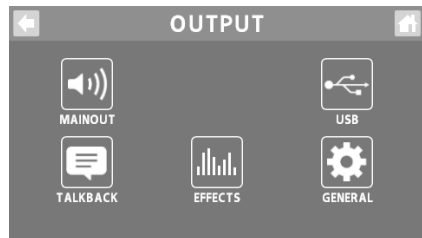
専用アプリの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

出力の設定

1. トップ・パネルの [] ボタンを押します。

OUTPUT 画面が表示されます。



2. <MAINOUT>～<GENERAL>にタッチして、設定項目を選びます。

<USB>にタッチした場合

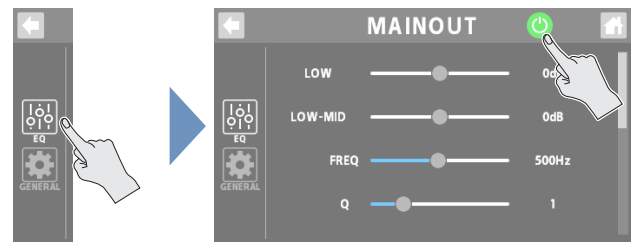
3. <MAIN>～<AUX IN>にタッチして、設定項目を選びます。

MAIN OUT

MAIN OUT の出力設定をします。

EQ

1. <EQ>にタッチします。
2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。

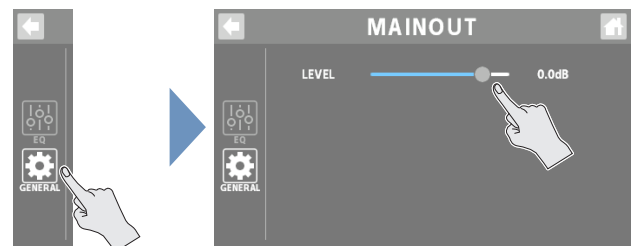


3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web)をご覧ください。

GENERAL

1. <GENERAL>にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。

USB

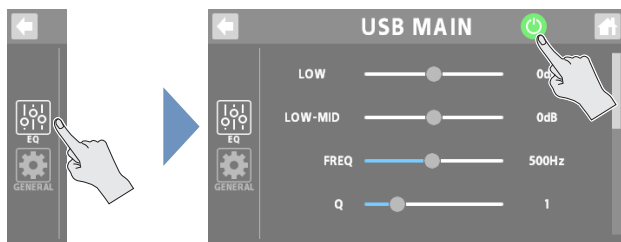
USB の出力設定をします。

USB MAIN

USB のメイン出力です。MAIN OUT 端子と同じ音出力されます。

EQ

1. < EQ > にタッチします。
2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。

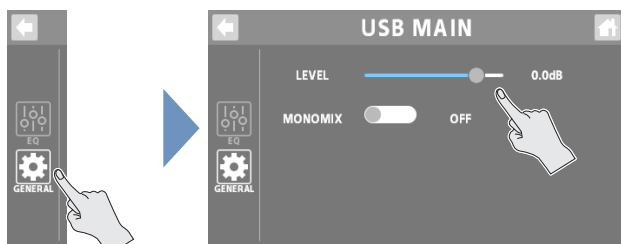


3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL > にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。
MONO MIX	USB から出力する信号を、モノにします。

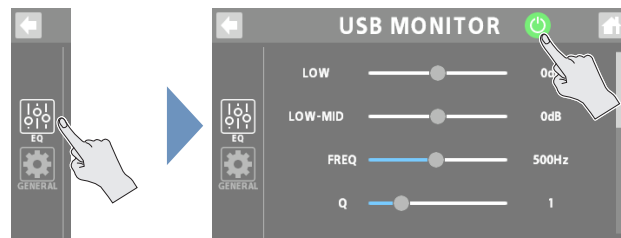
USB MONITOR

USB のモニター出力です。ヘッドホン 1 ～ 4 端子と同じものが出力されます。

会話やチャットのためにチャンネルを指定することで、GCS-8 のヘッドホンで聴いている音をパソコンでも聴くことができます。

EQ

1. < EQ > にタッチします。
2. EQ ボタンを「ON」(緑点灯) にします。

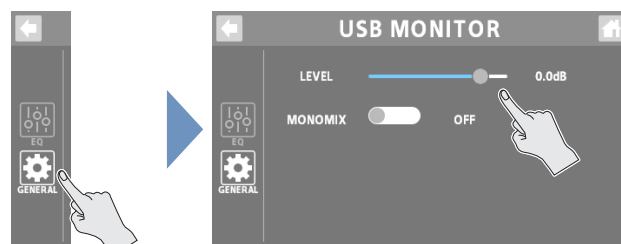


3. 各音域の音質を調整します。

※ パラメーターの詳細については『パラメーター・ガイド』(Web) をご覧ください。

GENERAL

1. < GENERAL > にタッチします。
2. パラメーターを設定します。

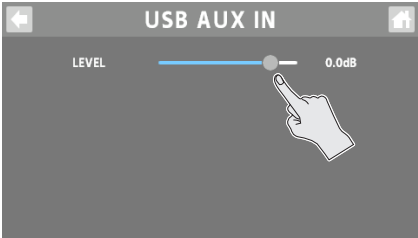


パラメーター	説明
LEVEL	信号の出力レベルを設定します。
MONO MIX	USB から出力する信号を、モノにします。

USB AUX IN

OUTPUT フェーダーの直前でミックスされる USB 入力です。
パソコンでの編集作業などで、エフェクトを通さない音を確認したい場合に利用することができます。

1. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
LEVEL	信号の入力レベルを設定します。

トークバックの設定 (TALKBACK)

トークバックを使うための設定をします。

1. TALKBACK ボタンにタッチする、またはトップ・パネルの [] (トークバック) ボタンを押して「ON」(緑点灯) にします。



2. パラメーターを設定します。

トークバックするチャンネルの選択 (CHANNEL)

トークバックする音声のチャンネルを選びます。
複数のチャンネルを選ぶことができます。

パラメーター	設定値
CHANNEL	CH1 ~ 4、USB、MOBILE、BLUETOOTH

トークバック専用の入力ソース選択

トークバック専用の入力ソースを設定します。
チャンネルの入力ソースに内蔵マイクやヘッドセットのマイクを設定していない場合でも、トークバック専用でマイクやヘッドセットのマイクを使用することができます。

パラメーター	説明
AUX IN	トークバック専用の入力ソース (内蔵マイクまたはヘッドセットのマイク) を選びます。 使わないときは「OFF」にします。
AUX GAIN	AUX IN 使用時の入力ゲインを調節します。

その他

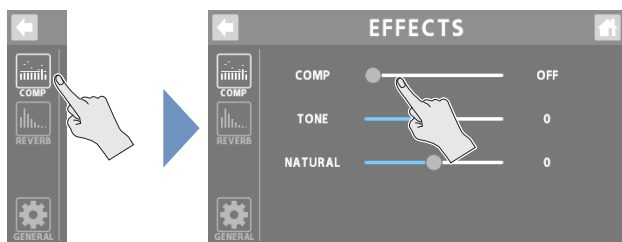
パラメーター	説明
THRU OUT	トークバックに使わないチャンネルの音を MAIN OUT に出力するときの出力レベルを設定します。 トークバックに使わないチャンネルを使って BGM を流したりすることができます。 「OFF」にすると、トークバック中は MAIN OUT の出力音がすべてミュートされます。
OUTPUT	トークバックする音声の出力先を設定します。

EFFECTS

出力音にけるエフェクトの設定をします。

COMP

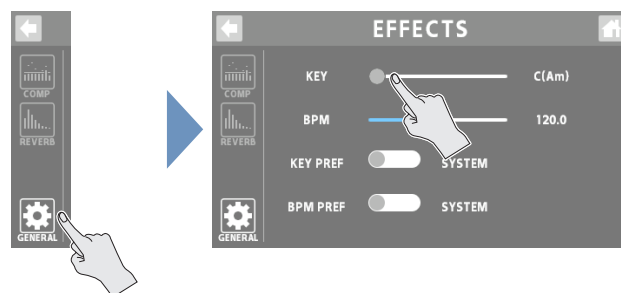
1. < COMP >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
COMP	コンプレッサーの深さを設定します。 「OFF」にすると、コンプレッサーはかかりません。
TONE	エフェクト音の音質を調節します。
NATURAL	値が大きいほど、コンプレッサーのかかりが自然な感じになります。

GENERAL

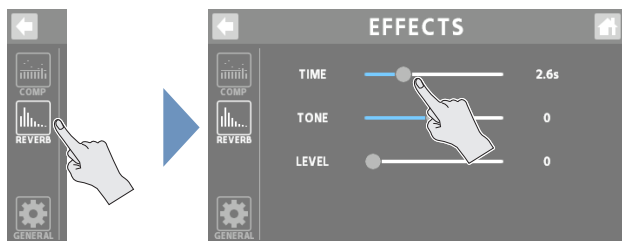
1. < GENERAL >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
KEY	エフェクト・パッチ (チャンネル 1 ~ 4)、専用エフェクト (USB ~ BLUETOOTH チャンネル) に共通のキーと BPM を設定します。
BPM	
KEY PREF	キーと BPM の設定を、GENERAL の設定にする (SYSTEM) か、CH1 で使われているエフェクト・パッチの設定にする (CH1) かを選びます。
BPM PREF	

REVERB

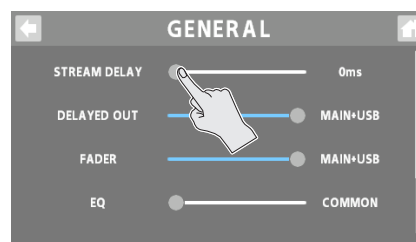
1. < REVERB >にタッチします。
2. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
TIME	リバーブ音の長さ (時間) を調節します。
TONE	リバーブ音の音質を調節します。
LEVEL	リバーブ音の音量を調節します。

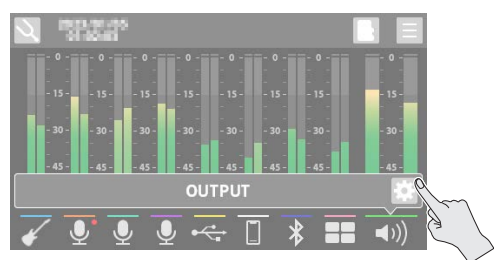
GENERAL

1. パラメーターを設定します。



パラメーター	説明
STREAM DELAY	映像と音声のズレを調整するときに使用します。
DELAYED OUT	STREAM DELAY で調整された音声の出力先を設定します。
FADER	OUTPUT フェーダーの音量調節が有効になる出力を設定します。
EQ	MAIN OUT とヘッドホン 1 ~ 4 端子の EQ を共通で設定するか、個別に設定するかを決めます。
MONITOR	ヘッドホン 1 ~ 4 端子と USB MONITOR に出力される音に対し、各チャンネル・フェーダーの音量調節が有効か無効かを設定します。
HEDSET MIX MINUS	ヘッドセット・マイクからの入力音を、ヘッドホン 1 端子に戻す (ON) か戻さない (OFF) かを設定します。

ホーム画面で、OUTPUT チャンネルのアイコンにタッチするとウィンドウが開きます。
< ⚙ >にタッチすると、EFFECTS 画面を表示させることができます。

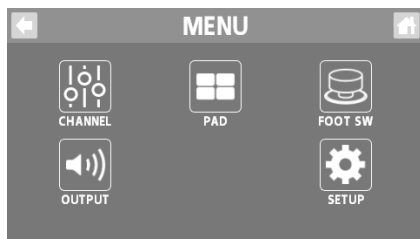


MENU画面の操作

MENU 画面では、いろいろな設定が「メニュー」として表示されます。目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目にタッチして画面を切り替えます。

1. ホーム画面で、<≡> (MENU ボタン) にタッチします。

MENU 画面が表示されます。



2. <CHANNEL>～<SETUP>にタッチして、メニュー項目を選びます。

3. 目的の設定画面が表示されるまで、メニュー項目にタッチして画面を切り替えます。

4. パラメーターを設定します。

CHANNEL / OUTPUT / PAD / FOOT SW

項目	説明
CHANNEL	各入力チャンネルの設定をします。 内容は、「チャンネル設定」(P.8) と同じです。
OUTPUT	出力に関する設定をします。 内容は、「出力の設定」(P.31) と同じです。
PAD	サウンド・パッド、エフェクト・パッドの設定をします。 内容は、「サウンド・パッドの設定をエディットする」(P.20)、「エフェクト・パッドの設定をエディットする」(P.22) と同じです。
FOOT SW	FOOT SW 端子に接続したフットスイッチ／エクスプレッション・ペダル／GA-FC の機能を設定します。 内容は、「フットスイッチ／エクスプレッション・ペダルを使う」(P.24) と同じです。

SETUP

GCS-8 のシステム全体に関する設定をします。

DISPLAY

パラメーター	説明
BRIGHTNESS	
LCD	ディスプレイの明るさを調節します。
LED ON	ボタン／パッドがオンのときの明るさを調節します。
LED OFF	ボタン／パッドがオフのときの明るさを調節します。
EDIT SW	チャンネル・エディット・ボタンと OUTPUT エディット・ボタンの点灯方法を設定します。
CLIP LEVEL	ホーム画面に表示されるレベル・メーターの、クリップ表示のレベルを設定します。

SD CARD

内容は、「録音の操作」(P.28) と同じです。

USB

パラメーター	説明	
AUDIO MODE		オーディオの動作モードを設定します。
	2 MIX	ステレオ入出力で動作します。 各 OS の標準ドライバーで動作します。
	MTK- RECORD	マルチトラック入出力で動作します。 専用ドライバーで動作します。 サンプリング・レートを切り替えて使う ことができる録音用モードです。 DAW などで録音するときに便利です。
	MTK- STREAM	マルチトラック入出力で動作します。 専用ドライバーで動作します。 Mac で使用するとき、各チャンネルを 個別に選べるモードです。 会話アプリなどで使うときに便利です。
MULTITRACK	マルチトラックで出力するときに、どの信号を出力 するかを設定します。	
MIDI CH	MIDI 情報の送受信チャンネルを設定します。	

GENERAL

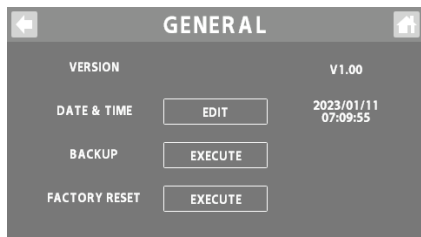
パラメーター	説明
VERSION	システム・プログラムのバージョンを表示します。
DATE & TIME	日付と時刻を設定します。
BACKUP	GCS-8 のデータをパソコンにバックアップします。
FACTORY RESET	工場出荷時の設定に戻します。

GCS-8 のデータをバックアップする

GCS-8 のデータを、パソコンにバックアップします。

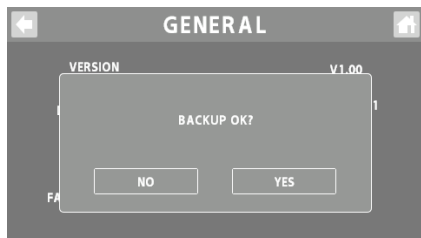
1. MENU 画面で、< SETUP > → < GENERAL > にタッチします。

GENERAL 画面が表示されます。



2. BACKUP の< EXECUTE > にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。



3. < YES > にタッチします。

「CONNECTING...」と表示されます。



4. USB ケーブルで、GCS-8 の USB 端子とパソコンの USB 端子を接続します。

パソコンとの間で接続が完了すると「CONNECTED」とメッセージが表示されます。

5. GCS-8_INT ドライブを開きます。

Windows

PC 内の「GCS-8_INT」を開きます。

macOS

デスクトップの「GCS-8_INT」アイコンを開きます。

6. データのバックアップ／復元をします。

バックアップ

GCS-8_INT ドライブの「ROLAND」フォルダーと「GCS-8_BAK.BIN」ファイルをそのままパソコンにコピーします。

復元

※ この操作をすると、現在 GCS-8 に保存されているメモリーは消えてしまいます。最初にバックアップをしてください。

GCS-8_INT ドライブの「ROLAND」フォルダーと「GCS-8_BAK.BIN」ファイルを削除してから、パソコンにバックアップしてある「ROLAND」フォルダーと「GCS-8_BAK.BIN」ファイルを GCS-8_INT ドライブにコピーします。

注意

復元するとき以外は、GCS-8_INT 内のフォルダーは削除しないでください。

7. < DISCONNECT > にタッチして、GCS-8_INT ドライブの取り出しをします。

「DISCONNECTING...」と表示されます。



※ パソコン側の操作で、GCS-8_INT ドライブの取り出しをすることもできます。

Windows

画面右下の [PC] → [GCS-8_INT] アイコンから「GCS-8_INT」をクリックします。

macOS

「GCS-8_INT」アイコンをゴミ箱（「取り出し」アイコン）にドラッグします。

専用アプリを使って、GCS-8 のデータをバックアップすることができます。

専用アプリの詳細については、ボスのホームページをご覧ください。

<https://www.boss.info/jp/support/>

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

すべての設定を工場出荷時の設定に戻すことができますが、工場出荷時の設定に戻したい項目を指定することもできます。

※「ファクトリー・リセット」を実行すると、お客様が設定した設定は失われます。必要なデータは、パソコンにバックアップしてください。

1. MENU 画面で、＜SETUP＞→＜GENERAL＞にタッチします。

GENERAL 画面が表示されます。



4. ＜EXECUTE＞にタッチします。

確認のメッセージが表示されます。

※ 中止するときは、＜NO＞にタッチします。

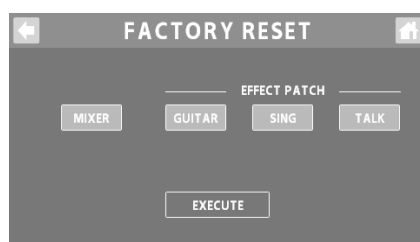
5. ＜YES＞にタッチします。

ファクトリー・リセットが実行されます。

※「EXECUTING...」と表示されている間は絶対に電源を切らないでください。

2. FACTORY RESET の＜EXECUTE＞にタッチします。

FACTORY RESET 画面が表示されます。



3. 戻したい設定を選びます。

FACTORY RESET 画面に切り替えた直後は、すべての設定が選ばれています。

パラメーター	説明
MIXER	チャンネル 1 ～ 4 の設定
	USB ～ SOUND PAD チャンネルの設定
	OUTPUT の設定
	サウンド・パッドの設定
	エフェクト・パッドの設定
	フットスイッチの設定
	エクスプレッション・ペダルの設定
	GA-FC の設定
EFFECT PATCH	
GUITAR	EFFECTS CATEGORY が「GUITAR」のエフェクト・パッチ
SING	EFFECTS CATEGORY が「SING」のエフェクト・パッチ
TALK	EFFECTS CATEGORY が「TALK」のエフェクト・パッチ

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	意味	対処
microSD カード		
CARD FULL	microSD カードの空き容量がなくなりました。	不要な WAV ファイルを削除してください。
CARD TOO BUSY	録音／再生で、microSD カードのデータ書き込み／読み出しが間に合っていない。	別の microSD カードを使ってください。
NO CARD	microSD カードが差し込まれていません。	microSD カードを差し込んでください。
PROTECTED CARD	プロテクトのかかった microSD カードに録音しようとしました。	microSD カードのプロテクトを解除してください。
UNFORMATTED CARD	GCS-8 でフォーマットしていない microSD カードが差し込まれました。	画面のメッセージに従って、microSD カードをフォーマットしてください。
UNSUPPORTED CARD	GCS-8 では使えない microSD カードです。	別の microSD カードを使ってください。
録音、再生		
NOW PLAYING	再生中のため、操作できません。	-
NOW RECORDING	録音中のため、操作できません。	
The remaining card capacity is low	残りの録音時間が、5 分未満になりました。	
その他		
INSUFFICIENT USB BUS POWER. CHANGE THE USB PORT OR USE PSD ADAPTOR.	USB 端子への給電量が不足しています。	市販の USB AC アダプター（5V ≡ / 3A 以上）を使って給電してください。
SETUP DATE & TIME?	無通電期間が経過して本体内の時計がリセットされたときに表示されます。	<YES >にタッチしてから、日付と時刻の設定（P.5）をしてください。
GIGCASTER APP NOT FOUND	専用アプリが接続されていません。	-
FILE NOT EXIST	サウンド・パッドの設定画面（P.20）や PLAYBACK 画面（P.29）で、選べる WAV ファイルがありません。	
UNSUPPORTED FILE	サウンド・パッドの設定画面（P.20）や PLAYBACK 画面（P.29）で、GCS-8 が対応していない WAV ファイルが選ばれました。	
PROTECTED FILE	プロテクトのかかった WAV ファイルに対して、削除／書き込みをしようとした。	
FILE SYSTEM ERROR	microSD カードまたは本体メモリーに対し、正しくデータの書き込み／読み出しができません。	ファクトリー・リセット（P.37）で、GCS-8 を工場出荷時の状態に戻してください。 ファクトリー・リセットを実行しても問題が解決しないときは、お買い上げ店、または当社サポート窓口にご連絡ください。
DATA DAMAGED	データが壊れています。	
SYSTEM ERROR OCCURRED PLEASE REBOOT	原因不明のエラーが発生しました。	

主な仕様

サンプル・レート	48kHz
AD 変換	24 ビット
DA 変換	32 ビット
内部演算	32 ビット浮動小数点
USB オーディオ	入力数： 20ch 出力数： 14ch
Bluetooth	A2DP、HFP
録音	データ形式： BWF (48kHz、32 ビット浮動小数点、2ch ステレオ／18ch Poly) メモリー： microSD カード (別売)
サウンド・パッド	データ形式： WAV (48kHz、ステレオ 16 ビット・リニア) メモリー： 内蔵メモリー (16GB)
エフェクト・パッチ	GUITAR： 200 (ユーザー) + 100 (プリセット) SING： 200 (ユーザー) + 30 (プリセット) TALK： 200 (ユーザー) + 30 (プリセット)
同時使用エフェクト数	GUITAR： 1 チャンネル (DISTORTION、PREAMP、EQ、NS、PEDAL FX、FX1、FX2、FX3、DELAY/REVERB)
	SING： 2 チャンネル (COMP、ENHANCE、DESS、EQ、NS、PITCH CORRECT、HARMONY、FX1、FX2、FX3、DELAY/REVERB)
	TALK： 4 チャンネル (COMP、ENHANCE、DESS、EQ、NS、FX1、FX2)
	CONSOLE： 7 チャンネル (COMP、ENHANCE、DESS、NS、FX)
	FX： 1 チャンネル (サウンド・パッド用)
	OUTPUT： COMP、REVERB
規定入力レベル (可変)	GUITAR INPUT： -10 dBu INPUT 1 ～ 4 (XLR タイプ)： -40 dBu INPUT 1 ～ 4 (TRS 標準タイプ)： -10 dBu MOBILE IN： -20 dBu
入力インピーダンス	GUITAR INPUT： 1M Ω INPUT 1 ～ 4 (XLR タイプ)： 5.6k Ω INPUT 1 ～ 4 (TRS 標準タイプ)： 27k Ω MOBILE IN： 22k Ω
規定出力レベル	MAIN OUT L、R： -10dBu
出力インピーダンス	MAIN OUT L、R： 1k Ω PHONES 1 ～ 4： 47 Ω
推奨負荷インピーダンス	MAIN OUT L、R： 10k Ω 以上
ディスプレイ	カラー・グラフィック LCD (480 × 272 ドット) タッチ・スクリーン付
コントロール	チャンネル・エディット・ボタン (CH1 ～ 4、USB、MOBILE、BLUETOOTH、SOUND PAD) OUTPUT エディット・ボタン ミュート・ボタン (CH1 ～ 4、USB、MOBILE、BLUETOOTH、SOUND PAD) OUTPUT ミュート・ボタン モニター・ボタン (CH1 ～ 4、USB、MOBILE、BLUETOOTH、SOUND PAD) トークバック・ボタン 録音ボタン マーク・ボタン EFFECTS ボタン パッド 1 ～ 8 チャンネル・フェーダー (CH1 ～ 4、USB、MOBILE、BLUETOOTH、SOUND PAD) OUTPUT フェーダー ヘッドホン 1 ～ 4 つまみ

主な仕様

接続端子	ギター端子：標準タイプ チャンネル 1 ～ 4 端子：コンボ・タイプ (XLR、TRS 標準)、バランス モバイル端子：ステレオ・ミニ・タイプ (CTIA) MAIN OUT L、R 端子：標準タイプ ヘッドホン 1 端子：ステレオ・ミニ・タイプ (CTIA) ヘッドホン 2 ～ 4 端子：ステレオ・ミニ・タイプ FOOT SW 端子：TRS 標準タイプ USB 端子：USB Type-C® DC IN 端子
電源	AC アダプター (PSD-100) USB バス・パワー
消費電流	1.8A (ファンタム電源オン時) 1.6A (ファンタム電源オフ時)
外形寸法	217 (幅) × 267 (奥行) × 80 (高さ) mm
質量	1.36 kg
付属品	AC アダプター (PSD-100) スタートアップ・ガイド 「安全上のご注意」チラシ 保証書
別売品	フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6 エクスプレッション・ペダル：FV-500L / 500H、Roland EV-5 フット・コントローラー：GA-FC

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。